

7 災害履歴に関する資料

火 災

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況
明暦 3 年(1657) 3 月 2 日	大火	平	平で大火があった。「明暦の大火」という。
天保 3 年(1683) 5 月 14 日	大火	平(材木町)	平の材木町から出火。紺屋町・菩提院町など 90 余戸を焼失した。
貞享 4 年(1687) 5 月 27 日	大火	平(二町目)	平の二町目から出火。通りの北側が全焼した。
宝永 2 年(1705) 1 月 25 日	大火	平(一・二町目)	平で火災があり、一町目と二町目を全焼した。
宝永 4 年(1707) 2 月 17 日	大火	平(浜町)	平の浜町から出火。強風のため大火になった。
明治元年(1868) 4 月 20 日	大火	石城郡四倉村	20 日、石城郡四倉村字仲町地内から出火。住宅など 100 棟を焼失した。 原因 たき火の不始末
明治 2 年(1869) 3 月 10 日	火災	石城郡錦村	10 日午後 11 時ごろ、石城郡錦村大字中田字安良町地内から出火。住宅 40 戸、非住家 60 棟を焼失した。 原因 放火 損害額 2 万円
明治 3 年(1870) 3 月	大火	石城郡平	石城郡平、良善寺から出火。研町・古鍛冶町・紺屋町・一町目・二町目・三町目・四町目・南町・五町目・新川町・月見町など住宅 400 戸を焼失した。 原因 寺の線香の転落 損害額 60 万円
明治 18 年(1885) 11 月 3 日	大火	石城郡四倉村	石城郡四倉村字仲町地内から出火。住宅 120 戸を焼失した。 原因 放火
明治 20 年(1887) 4 月	大火	石城郡窪田村	石城郡窪田村大字窪田字町通地内から出火。住宅 60 戸を焼失した。 損害額 2 万円
明治 30 年(1897) 5 月 27 日	火災	石城郡泉村	石城郡泉村大字川辺地内から出火。住宅 37 戸、非住家 20 棟を焼失した。 損害額 3 万 8 千円
明治 35 年(1902) 12 月	火災	石城郡大浦村	石城郡大浦村大字上仁井田字松葉地内から出火。住宅 22 戸、非住家 20 棟を焼失した。 原因 汽車の煙突からの飛火 損害額 3 万 5 千円
明治 37 年(1904) 2 月 6 日	火災	石城郡永戸村	石城郡永戸村地内から出火。住宅 31 戸を焼失した。 損害額 6 万円
明治 39 年(1906) 2 月 18 日	大火	石城郡平町	午前 11 時ごろ、平町田町の旗亭(石城郡役所の向側)から出火。中心街の田町・二・三・四・五町目・菩提院町・新川町などの住宅全焼 603 戸、土蔵 78 棟、住宅半焼 32 戸、非住家 600 棟を焼失した。 空気が乾燥していたこと、北西の強い風が吹いていたこと、用水や消防力の不足が火災を大きくした。 原因 火鉢の転倒 損害額 200 万円

年月日	名称	発生場所	被害状況
明治 39 年(1906) 3 月 23 日	火災	石城郡平町	石城郡平町地内から出火。住宅 54 戸を焼失した。
明治 40 年(1907) 2 月 14 日	大火	石城郡湯本村	石城郡湯本村字裏町から出火。住宅 120 戸、非住家 42 棟を焼失した。 当地方は、1 月末から雨らしい雨がなく、かなり乾燥した状態にあった。 原因 アンカの不始末 損害額 12 万円
明治 42 年(1909) 2 月	大火	石城郡湯本村	石城郡湯本村字裏町地内から出火。住宅 70 戸を焼失した。 原因 コタツの不始末 損害額 3 万円
大正 2 年(1913) 2 月 28 日	学校火災	石城郡永戸村	夜、渡戸小学校から出火。校舎を全焼した。
大正 6 年(1917) 3 月	学校火災	石城郡好間村	石城郡好間村の好間尋常高等小学校から出火。校舎 2 棟を焼失した。 原因 失火 損害額 5 千円
大正 7 年(1918) 3 月 22 日	林野火災	石城郡沢渡村	石城郡沢渡村地内から出火。山林 100 町歩を焼損した。
大正 8 年(1919) 4 月 12 日	林野火災	石城郡永戸村 ・赤井村	午後 5 時ごろ、石城郡永戸村地内から出火。山林 700 町歩を焼損した。 この山火事は、赤井村の山林にも延焼した。
大正 9 年(1920) 1 月 23 日	寺院火災	石城郡上小川村	石城郡上小川村字柱内の常慶寺から出火。同寺及び付近の住宅 13 戸を焼失した。 原因 磐越東線の機関車の煙突からの飛火 損害額 2 万 4 千円
大正 9 年(1920) 2 月 2 日	炭鉱爆発	石城郡好間村	午後 8 時 30 分ごろ、石城郡好間村字北好間の古河炭鉱第一坑口から、約 300m 入った坑内で自然発火によるガス爆発が起こり、作業中の坑夫 17 名中 3 名が死亡、14 名は生死不明となった。この爆発は第 3 坑にも伝わり、火の回りは緩慢だったが入坑中の 275 名の大部分は、火と黒煙をくぐりながら、ようやく避難することができた。 死者 21 名 損害額 100 万円
大正 9 年(1920) 4 月 16 日	林野火災	石城郡沢渡村	石城郡沢渡村大字中寺地内から出火。山林 80 町歩を焼損した。
大正 10 年(1921) 3 月 11 日	火災	石城郡大野村	石城郡大野村大字中島地内から出火。住宅など 23 戸、非住家 76 棟を焼失した。 原因 子供の火遊び
大正 11 年(1922) 1 月 17 日	役場火災	石城郡永戸村	永戸村役場外 3 棟を焼失した。
大正 11 年(1922) 2 月 29 日	大火	石城郡植田町	石城郡植田町地内から出火。住宅 42 戸非住家 57 棟を焼失した。 損害額 3 万円
大正 12 年(1923) 6 月 1 日	火災	石城郡内郷村	石城郡内郷村大字宮地内から出火。住宅全焼 43 戸、半焼 8 戸を焼失した。 原因 煙突
大正 13 年(1924) 2 月 5 日	林野火災	石城郡大野村	石城郡大野村八茎鉱山付近から出火。山林 300 町歩を焼損した。

年月日	名称	発生場所	被害状況
大正 13 年(1924) 2 月 19 日	炭鉱火災	石城郡湯本町	石城郡湯本町入山炭鉱内で火災が起こり、作業員 13 名が焼死した。 原因 スパークがガスに引火
大正 13 年(1924) 3 月 20 日	火災	石城郡沢渡村	石城郡沢渡村地内から出火。住宅 47 戸を焼失した。
大正 14 年(1925) 11 月	火災	石城郡川前村	石城郡川前地内から出火。住宅 66 戸を焼失した。
昭和 2 年(1927) 2 月 17 日	火災	石城郡湯本町 (料理店)	石城郡湯本町駅前料理店から出火。住宅 18 戸を焼失した。 原因 炉の失火 損害額 1 万 5 千円
昭和 2 年(1927) 5 月 6 日	炭鉱爆発	石城郡湯本町	午後 1 時ごろ、石城郡湯本町入山炭鉱でガス爆発があり、死者 15 名、重傷者 4 名を出した。
昭和 4 年(1929) 2 月 25 日	大火	石城郡鹿島村	石城郡鹿島村地内から出火。住宅 48 戸、非住家 38 棟、山林 300 町歩を焼損した。 原因 失火 損害額 40 万円
昭和 8 年(1933) 2 月 3 日	火災	石城郡赤井村 (赤井薬師堂)	午前 11 時 30 分ごろ、石城郡赤井村赤井岳の赤井薬師から出火。宝物殿を残して薬師堂など 3,024 坪を全焼し、付近の山林 3 町歩を焼損した。 原因 たき火の不始末 損害額 100 万円
昭和 9 年(1934) 3 月 2 日	林野火災	石城郡鹿島村	午後、石城郡鹿島村の山林から出火。江名・飯野・豊間・高久の近隣各町村まで延焼し、山林 200 町歩を焼損した。
昭和 10 年(1935) 5 月 30 日	炭鉱爆発	石城郡湯本町	午後 3 時ごろ、石城郡湯本町入山炭鉱坑内でガス爆発があり、作業中の坑夫 48 名が死亡した。
昭和 21 年(1946) 3 月 6 日	炭鉱爆発	石城郡磐崎村	午前 7 時 50 分ごろ、石城郡磐崎村の常磐炭鉱磐崎坑の北進坑内 2.125m の地点でガス爆発があり、採炭夫 7 名が死亡、重軽傷者 24 名を出した。
昭和 21 年(1946) 5 月 20 日	火災	平市宇田町	午前 11 時 50 分ごろ、平市宇田町地内から出火。商店・病院・住宅 33 棟 740 坪を焼失した。この火事で全焼 39 世帯・半焼 7 世帯を出した。 原因 セルロイド玩具が火鉢に落ち燃え広がった
昭和 22 年(1947) 2 月 3 日	火災	石城郡植田町	午前 3 時 40 分ごろ、石城郡植田町字本町の劇場から出火。同劇場をはじめ銀行・郵便局・住宅 10 戸が焼失し、1 名が逃げおくれ焼死した。 原因 家庭不和による放火 損害額 500 万円
昭和 22 年(1947) 10 月 20 日	炭鉱爆発	石城郡磐崎村	午後 8 時 10 分ごろ、石城郡磐崎村上湯長谷の常磐炭鉱磐崎坑北進坑上り 390m 地点で炭じん爆発が発生。作業員 11 名死亡、重軽傷者 16 名。
昭和 24 年(1949) 5 月 8 日	火災	石城郡田人村	午前 11 時 30 分ごろ、石城郡田人村道伝地内の山林から出火。住宅に延焼し道伝部落と熊倉部落の住宅など 35 棟 651 坪を全焼し、午後 5 時ごろ鎮火した。この火事で 18 世帯が焼け出された。 原因 たき火の不始末 損害額 550 万円
昭和 25 年(1950) 2 月 17 日	火災	石城郡湯本町 (常磐炭鉱)	午後 9 時ごろ、石城郡湯本町の常磐炭鉱湯本坑の事務所から出火。同事務所など 523 坪を全焼したほか、石灰 3,000 トンと石炭選別機械の大半を焼失し、午後 11 時 30 分ごろ鎮火した。 原因 不明 損害額 400 万円

年月日	名称	発生場所	被害状況
昭和 25 年(1950) 2 月 28 日	火災	石城郡小名浜町	午前 0 時 10 分ごろ、石城郡小名浜町字古湊地内から出火。住宅 23 戸、非住家 15 棟 650 坪を焼失し、午前 4 時 30 分ごろ鎮火した。この火事で全焼 27 世帯、半焼 6 世帯計 106 名が焼け出され、古湊地区の大半が焼けた。 原因 かまどの不始末 損害額 4,500 万円
昭和 25 年(1950) 12 月 24 日	炭鉱爆発	石城郡勿来町	午前 11 時 30 分ごろ、石城郡勿来町の大日本炭鉱の坑口から 800m の地点で、たばこの火が原因でメタンガスが爆発。作業中の坑夫が 6 名死亡、重傷者 5 名を出した。
昭和 26 年(1951) 3 月 12 日	学校火災	石城郡三和町	午後 10 時ごろ、石城郡三和村下市萱地内の沢渡小学校新田分校の宿直室から出火。教室 2 坪、宿直室等 16 坪を焼失した。 原因 宿直室の火の不始末 損害額 50 万円
昭和 26 年(1951) 10 月 1 日	学校火災	平市字高月	午後 8 時 50 分ごろ、平市字高月地内の県立磐城高等学校体育館から出火。同校舎 6 棟、普通教室 32 室、実験室・職員室など 1,952 坪を焼失して午後 11 時 50 分ごろ鎮火した。 原因 不明 損害額 3,000 万円 負傷者 1 名
昭和 27 年(1952) 5 月 8 日	原種農場火災	平市塩宮谷	午前 3 時 50 分ごろ、平市塩宮谷の県立園芸原種農場本館農具室から出火。同本館 2 棟 162 坪を全焼し、午前 5 時ごろ鎮火した。 原因 不明 損害額 186 万円 負傷者 2 名
昭和 27 年(1952) 11 月 24 日	漁協火災	石城郡四倉町	午前 2 時 20 分ごろ、石城郡四倉町地内の漁業協同組合から出火。同協組 1 棟、住宅 1 棟を全焼して、午前 3 時 10 分ごろ鎮火した。 原因 取灰の不始末 損害額 432 万円
昭和 28 年(1953) 4 月 27 日	林野火災	石城郡大野村	午前 8 時 30 分ごろ、石城郡大野村八茎地内から出火。共有林 130 町歩が 10 時間にわたり燃え続け、午後 5 時ごろ鎮火した。
昭和 30 年(1955) 3 月 7 日	火災	石城郡小川町 (炭鉱住宅)	午前 10 時ごろ、石城郡小川町高萩字山ノ入の炭鉱住宅から出火。住宅 18 戸、248 坪と山ノ入公民館 1 棟 20 坪を焼失した。10m の強風にあおられ、40 分間で 18 世帯、88 名が焼け出された。 原因 漏電 損害額 950 万円
昭和 31 年(1956) 5 月 4 日	診療所・学校火災	石城郡川前村	午前 5 時 30 分ごろ、石城郡川前村地内の診療所から出火。同診療所と棟続きの桶売小学校 8 教室、225 坪を全焼した。 原因 火鉢の火の不始末 損害額 330 万円
昭和 32 年(1957) 3 月 13 日	学校火災	内郷市	午後 8 時 20 分ごろ、内郷市の宮小学校校舎から出火。同校舎 4 棟 28 教室のうち新校舎の 6 教室を残して、22 教室 903 坪を全焼して 14 日午前 2 時 15 分ごろ鎮火した。この火事で付近の住宅 5 戸、6 世帯 38 名が焼け出された。 原因 放火 損害額 1,991 万円

年月日	名称	発生場所	被害状況
昭和 32 年(1957) 4 月 7 日	林野火災	石城郡川前村	午後 1 時 15 分ごろ、石城郡川前村の山林から出火。山林 400ha を焼損、10 日午前 10 時ごろ鎮火した。 損害額 2,961 万円
昭和 32 年(1957) 4 月 14 日	火災	内郷市宮町	午後 11 時 15 分ごろ、内郷市宮町地内から出火。商店街や炭鉱住宅など 85 棟、1,423 坪を全焼して 15 日午前 1 時 50 分ごろ鎮火した。この火事で 117 世帯 470 名が焼け出された。 原因 放火 損害額 2,730 万円
昭和 33 年(1958) 2 月 26 日	保養所火災	内郷市綴町	午前 3 時 20 分ごろ、内郷市綴町地内の常磐炭鉱健康保険組合保養所から出火。同所 1 棟 211m ² を全焼して午前 5 時 30 分ごろ鎮火した。 原因 煙突の過熱 損害額 1,149 万円 負傷者 1 名
昭和 35 年(1960) 1 月 27 日	学校火災	石城郡好間村	午前 1 時 50 分ごろ、石城郡好間村の好間第一小学校から出火。同校舎 4 棟 663m ² を全焼して午前 7 時 10 分ごろ鎮火した。 原因 火鉢の不始末 損害額 4,205 万円 負傷者 5 名
昭和 35 年(1960) 3 月 17 日	学校火災	磐城市	午後 5 時 35 分ごろ、磐城市の市立第一小学校の物置から出火。同校の講堂と物置 400m ² を全焼した。 原因 ゴミ焼き場の煙突の飛び火 損害額 500 万円
昭和 35 年(1960) 4 月 8 日	病院火災	常磐市湯本	午前 0 時 30 分ごろ、常磐市湯本の常磐炭鉱湯本病院から出火。病院 4 棟 975m ² を全焼して午前 2 時 45 分ごろ鎮火した。 原因 電熱器の過熱 損害額 1,020 万円
昭和 37 年(1962) 2 月 11 日	林野火災	石城郡川前村	石城郡川前村で山火事があり、山林 70ha を焼損し、翌 12 日鎮火した。
昭和 37 年(1962) 2 月 15 日	学校火災	常磐市	午前 1 時 00 分ごろ、常磐市の湯本第一小学校から出火。同校舎 2,178m ² を全焼して午前 2 時 30 分ごろ鎮火した。 原因 不明 損害額 2,802 万円
昭和 37 年(1962) 2 月 22 日	旅館火災	平市字白銀町	午後 1 時 20 分ごろ、平市字白銀町の旅館から出火、同旅館をはじめ住宅 4 棟 1,313m ² を焼失して、午後 2 時ごろ鎮火した。この火事で 8 世帯全焼、3 世帯半焼、56 名が焼け出された。 原因 火消つぼの不始末 損害額 1,750 万円
昭和 38 年(1963) 2 月 25 日	大火	石城郡四倉町	午後 0 時 15 分ごろ、石城郡四倉町大字白岩地内の山林から出火。隣接町村の大久村・広野町・久之浜町に飛火し、山林 1,245ha、住宅全焼 42 戸、非住家全焼 93 棟、42 世帯 274 名の被災者を出して、26 日午後 2 時ごろ鎮火した。 原因 炭かまどの失火 損害額 2 億 7,843 万円 負傷者 37 名

年月日	名称	発生場所	被害状況
昭和 38 年(1963) 12 月 8 日	石炭支局火災	平市字堂根町	午前 3 時 30 分ごろ、平市字堂根町の東京通産局平石炭支局分室の一階南側分析室付近から出火。木造モルタル二階建 370m ² を全焼して、午前 4 時ごろ鎮火した。 原因 ストープの火の不始末 損害額 860 万円
昭和 39 年(1964) 2 月 18 日	学校火災	石城郡四倉町	午後 2 時 20 分ごろ、石城郡四倉町地内の四倉小学校から出火。同校舎 4,765m ² と住宅 3 戸を焼失して、午後 6 時ごろ鎮火した。 原因 不明 損害額 6,300 万円 負傷者 8 名
昭和 39 年(1964) 3 月 16 日	病院火災	石城郡四倉町	午後 11 時 40 分ごろ、石城郡四倉町地内の病院から出火。同病院1棟 350m ² を焼失して 17 日午前 2 時ごろ鎮火した。 原因 石油ストーブの不始末 損害額 900 万円 焼死者 3 名
昭和 39 年(1964) 3 月 28 日	学校火災	磐城市岡小名	午前 4 時 30 分ごろ、磐城市岡小名地内の小名浜第二中学校から出火。同校舎 2,498m ² を焼失して、午前 5 時 30 分ごろ鎮火。 原因 不明 損害額 3,178 万円
昭和 39 年(1964) 11 月 4 日	市役所火災	内郷市	午前 3 時ごろ、内郷市役所第一庁舎から出火。木造モルタル二階建と平屋建の 2 棟 830m ² を焼失して、午前 4 時 12 分ごろ鎮火した。 原因 不明 損害額 3,603 万円 負傷者 2 名
昭和 39 年(1964) 11 月 15 日	学校火災	常磐市関船	午前 3 時ごろ、常磐市関船地内の県立湯本高等学校から出火。理科準備室 795m ² を全焼して、午前 4 時ごろ鎮火した。 原因 不明 損害額 1,363 万円 負傷者 3 名
昭和 41 年(1966) 10 月 8 日	旅館火災	いわき市小名浜	午前 4 時 21 分ごろ、いわき市小名浜地内の旅館から出火。同旅館をはじめ 4 棟、858m ² を焼失して午前 5 時 10 分ごろ鎮火した。 原因 不明 損害額 1,887 万円
昭和 41 年(1966) 11 月 7 日	営林署宿泊施設火災	いわき市四倉町	午後 8 時 15 分ごろ、いわき市四倉町地内の営林署宿泊施設から出火。同施設1棟 300m ² を全焼して午後 9 時ごろ鎮火した。 原因 風呂ボイラーの不始末 損害額 622 万円
昭和 42 年(1967) 4 月 6 日	学校火災	いわき市平鎌田	午後 10 時 45 分ごろ、いわき市平鎌田字味噌能地内の平第二中学校の第二校舎の二階中央付近から出火。同校舎二階建 3 棟 33 教室、3,595m ² を焼失して同 11 時 50 分ごろ鎮火した。 原因 漏電 損害額 4,740 万円
昭和 44 年(1969) 5 月 3 日 ～ 7 日	林野火災	いわき市小川町	午前 11 時ごろ、いわき市小川町上小川字江田地内の山林から出火。国有林 120ha を焼損した。山林の起伏がはげしいため見通しがきかず長日の火災になった。 原因 たばこの火の不始末 損害額 1,379 万円

年月日	名称	発生場所	被害状況
昭和 45 年(1970) 2 月 16 日	学校火災	いわき市勿来町	午前 4 時ごろ、いわき市勿来町窪田町通地内の県立勿来高等学校から出火。校舎 2 棟 2,186m ² を全焼、体育館を半焼して鎮火した。 原因 不明 損害額 2,964 万円
昭和 45 年(1970) 3 月 4 日	学校火災	いわき市平	午後 10 時 28 分ごろ、いわき市平地内の私立平千草洋裁学院から出火。同院校舎 240m ² を全焼して、11 時 10 分ごろ鎮火した。 原因 電気アイロン 損害額 196 万円
昭和 45 年(1970) 6 月 10 日	大規模店舗火災	いわき市小名浜	午前 1 時 47 分ごろ、いわき市小名浜字蛭川南地内の小名浜ショッピングセンターから出火。建物 7 棟 3,237m ² が焼失した。 原因 スパークが漏えいしたLPガスに引火 損害額 30,355 万円
昭和 45 年(1970) 8 月 21 日	学校火災	いわき市平	午後 8 時 15 分ごろ、いわき市平字高月地内の県立磐城高等学校から出火。同校講堂 1 棟 1,050m ² を全焼して、午後 9 時 10 分ごろ鎮火した。 原因 不明 損害額 3,000 万円
昭和 46 年(1971) 9 月 18 日	旅館火災	いわき市錦町	午後 1 時 35 分ごろ、いわき市錦町大島の旅館から出火。木造二階建 1 棟 135m ² を全焼、隣接の旅館に延焼し、木造平屋建 80m ² を半焼した。 原因 子供の火遊び
昭和 46 年(1971) 10 月 29 日	旅館火災	いわき市小川町	午後 1 時ごろ、いわき市小川町上小川の旅館から出火。木造モルタル二階建 330m ² を全焼した。 原因 風呂場の煙突の過熱 損害額 1,000 万円
昭和 47 年(1972) 11 月 19 日	学校火災	いわき市錦町	午後 0 時 45 分ごろ、いわき市錦町の市立錦小学校から出火。同校舎木造二階建延べ 3,048m ² を全焼して、午後 1 時 52 分に鎮火した。 原因 不明 損害額 2,300 万円
昭和 47 年(1972) 12 月 6 日	爆発事故	いわき市常磐	午後 5 時 17 分ごろ、いわき市常磐松久須根町内田 13 の廃棄立坑で突然大音響と共に爆発が起こり、2 名が即死したほか、近くの工場で作業中の作業員 8 名が重軽傷を負った。原因は廃棄立坑を利用して産業廃棄物スラッジ(油残渣)を投棄していたが、このスラッジがガスを発生し、ダンプカーのエンジンスパークが引火したものとみられている。
昭和 48 年(1973) 2 月 1 日	山林火災	いわき市山田町	午前 10 時 25 分ごろ、いわき市山田町下田中地内の山林から出火。民有林 40a を焼損して、正午ごろ鎮火。 損害額 約 50 千円
昭和 48 年(1973) 2 月 19 日	映画館火災	いわき市平	午後 4 時 20 分ごろ、いわき市平字一丁目、映画館「聚楽館」から出火。同木造モルタル二階建延べ 679.47m ² を全焼した。出火当時館内には 40 人の観客があり、全員無事であった。 原因 ボイラーの煙突の過熱 損害額 50,000 千円

年月日	名称	発生場所	被害状況
昭和 48 年(1973) 3 月 1 日	山林火災	いわき市内郷	午前 11 時 50 分ごろ、いわき市内郷白水町大神田地内の山林から出火。火は折からの強風にあおられ近くの常磐製作所倉庫 6 棟 1,680m ² を焼失。さらに火は内郷白水町の山林と国道 6 号線をはさんで向い側の内郷綴町堀坂地内の山林、常磐上浅貝地内の山林に飛び火し、民有林など合わせて 100ha を焼損して、同日午後 6 時 50 分に鎮火した。 原因 工場の煙突の飛び火
昭和 48 年(1973) 3 月 13 日	火災	いわき市小名浜	午前 0 時 35 分ごろ、いわき市小名浜字定西 349 の住宅から出火。木造平屋建 45m ² と棟続きの住宅 3 棟など合わせて 168m ² を焼失(3 世帯、8 人)して 30 分後に鎮火した。この火事で火元の一人暮らしの老人(70 才)が焼死した。 原因 豆炭コタツの過熱
昭和 48 年(1973) 5 月 29 日	坑内火災	いわき市渡辺町	午後 2 時 30 分ごろ、いわき市渡辺町泉田字二タ又、常磐炭鉱西部鉱業所の泉タテ坑口から約 120m 奥の坑内で火災が発生。このため坑外との通信連絡が断たれた。立坑の奥にある第 2 斜坑と西部斜坑には 129 名の坑内夫が作業していたため、救助マスクをつけて救助活動を行った。しかし 4 名が死亡、一酸化炭素中毒で重軽傷者 14 名を出した。
昭和 48 年(1973) 6 月 16 日	アパート火災	いわき市平	午後 1 時 45 分ごろ、いわき市平字新川町 57 の住宅から出火。木造平屋建住宅 1 棟と隣の木造二階建のアパート約 158m ² を全焼した。この火事で 8 世帯が焼け出された。
昭和 49 年(1974) 1 月 21 日	ガス爆発	いわき市小名浜	午前 2 時 13 分ごろ、いわき市小名浜下神白字館ノ腰 31 雇用促進事業団アパート 4 号棟 201 号宅で、ものすごい音とともにプロパンガスが爆発、2DK をふきとばすとともに全焼した。この事故で重軽傷者 8 名を出した。
昭和 49 年(1974) 4 月 20 日	山林火災	いわき市瀬戸町	午前 10 時ごろ、いわき市瀬戸町鍛冶屋地内の道路わき草むらから出火。近くの杉林に燃え移り、樹齢 10～40 年位の杉など約 1ha 焼損した。
昭和 49 年(1974) 8 月 6 日	火災	いわき市好間町	午前 0 時 20 分ごろ、いわき市好間町上好間字稲荷原 1 地内から出火。住宅 1 棟を全焼した。この火災で 74 才の老人が 3 ヶ月の重傷を負った。 原因 たばこの火の不始末
昭和 49 年(1974) 9 月 7 日	火災	いわき市勿来町	午後 4 時 45 分ごろ、いわき市勿来町関田須賀 1 蒟蒻加工業小沢商店の製氷冷凍工場から出火。同工場 3 棟を全焼した。午後 6 時 30 分に鎮火した。 損害額 約 3,000 千円
昭和 50 年(1975) 1 月 25 日	山林火災	いわき市大久町	午後 2 時ごろ、いわき市大久町大久字石坪の山林から出火。火は折からの強い風にあおられて、またたくまに燃え広がり、杉や雑木林など約 20a を焼損した。この火事で、消火作業をしていた人が煙にまかれて死亡した。

年月日	名称	発生場所	被害状況
昭和 50 年(1975) 3 月 15 日	密集地火災	いわき市内郷町	午前 10 時 30 分ごろ、いわき市内郷御厩町上宿 45 地内より出火、火はたちまち燃え広がり 12 世帯 29 名が焼け出された。 原因 ガスコンロの消し忘れ
昭和 50 年(1975) 6 月 7 日	船舶火災	いわき市小名浜	午後 6 時 10 分ごろ、いわき市小名浜三崎公園下で坐礁しているパナマ国籍貨物船「アデリナ号」のブリッジ付近から出火、木の部分をほぼ燃えつくし、同午後 8 時 50 分ごろ鎮火した。
昭和 50 年(1975) 9 月 5 日	火災	いわき市小名浜	午前 1 時 20 分ごろ、いわき市小名浜字隼人 169 の 13 の「イワキトルコセンター」から出火。木造モルタル二階建て 330m ² を全焼。30 分後に消し止めた。 原因 たばこの火の不始末とみられる
昭和 50 年(1975) 10 月 4 日	学校火災	いわき市平	午後 7 時ごろ、いわき市平下荒川の市立平第五小学校の校舎から出火。木造二階建ての本校舎 1 棟計 1,300m ² を全焼した。
昭和 51 年(1976) 2 月 3 日	林野火災	いわき市好間町	午前 11 時 25 分ごろ、いわき市好間町大利字道内地内の普通林から出火し、30a を焼損。 原因 たばこの火の不始末 損害額 57 千円
昭和 51 年(1976) 2 月 16 日	住宅火災	いわき市四倉町	午後 11 時 18 分ごろ、いわき市四倉町東四丁目 79 の住宅から出火。木造平屋建てが全焼し、2 世帯 6 名が焼け出された。 原因 ストープの不始末 損害額 1,806 千円
昭和 51 年(1976) 4 月 12 日	林野火災	いわき市泉町	午前 9 時 30 分ごろ、いわき市泉町下川字土木内 108 地内の原野で出火し、390a を焼失。 原因 たばこの不始末 損害額 723 千円
昭和 51 年(1976) 7 月 20 日	住宅火災	いわき市泉町	午後 8 時 40 分ごろ、いわき市泉町滝尻字六枚内 134 の 2、木造平屋建ての住宅から出火。2 棟が全焼、1 棟が部分焼し、3 世帯 11 名が焼け出された。 損害額 6,096 千円
昭和 51 年(1976) 8 月 16 日	住宅火災	いわき市平	午後 1 時 45 分ごろ、いわき市平泉崎字向原 8 の 4、木造二階建住宅でマッチの不始末により出火。1 棟が全焼、2 棟が部分焼し、6 世帯 11 名が焼け出された。 損害額 6,394 千円
昭和 51 年(1976) 11 月 1 日	共同住宅火災	いわき市四倉町	午後 8 時 40 分ごろ、いわき市四倉町字東一丁目 68、とろろこんぶ製造業の共同住宅から出火。2 棟全焼、1 棟部分焼し、4 世帯 10 名が焼け出された。 損害額 7,488 千円
昭和 52 年(1977) 5 月 8 日	住宅火災	いわき市内郷	午前 11 時ごろ、いわき市内郷綴町町ノ内 10 の住宅から出火。住宅 20 棟 1,356m ² を焼失した。 原因 不明 損害額 20,898 千円
昭和 52 年(1977) 5 月 10 日	林野火災	いわき市山玉町	午前 11 時 30 分ごろ、いわき市山玉町目兼地内国有林から出火。1,400a を焼損した。 原因 たばこの火の不始末とみられる 損害額 28,370 千円

年月日	名称	発生場所	被害状況
昭和 52 年(1977) 6 月 22 日	事務所火災	いわき市平	午前 2 時 25 分ごろ、いわき市平字田町の修理工場から出火。木造二階建て工場と販売事務所を合わせ 4 棟 569m ² と修理中の車輛 5 台を焼失した。 損害額 30,707 千円
昭和 53 年(1978) 1 月 28 日	店舗火災	いわき市植田町	午後 10 時 10 分ごろ、いわき市植田町南町の店舗併用住宅から出火。寝ていた 2 名が焼死、98m ² を全焼した。 損害額 6,555 千円
昭和 53 年(1978) 2 月 14 日	住宅火災	いわき市渡辺町	午前 10 時 20 分ごろ、いわき市渡辺町田部字初田で掘炬燵の火が誤って掛布団に着火、寝たきりの老人であったため、消火避難できず死亡。 損害額 6,370 千円
昭和 53 年(1978) 2 月 16 日	住宅火災	いわき市遠野町	午後 6 時 05 分ごろ、いわき市遠野町入遠野字中野の住宅から出火。4 棟 1 世帯、182m ² を全焼した。 損害額 10,552 千円
昭和 53 年(1978) 3 月 4 日	作業所火災	いわき市平	午前 0 時 43 分ごろ、いわき市平赤井字笹目田の作業場から出火。建物 475m ² を全焼した。 損害額 14,828 千円
昭和 53 年(1978) 4 月 15 日	作業場火災	いわき市平	午後 2 時 38 分ごろ、いわき市平字童子町 3-7 の作業場から出火。254m ² を焼失した。 原因 ヒーターボックスの過熱とみられている 損害額 23,387 千円
昭和 53 年(1978) 6 月 22 日	倉庫火災	いわき市平	午後 3 時 01 分ごろ、いわき市平字旧城跡の美術骨とう品倉庫から出火。建物 105m ² を全焼した。 原因 不明 損害額 31,778 千円
昭和 53 年(1978) 6 月 24 日	併用住宅火災	いわき市平	午前 0 時 40 分ごろ、いわき市平字南町の店舗兼住宅から出火。建物 397m ² を全焼。死者1名を出した。 損害額 79,762 千円
昭和 53 年(1978) 10 月 31 日	工場火災	いわき市遠野町	午前 4 時ごろ、いわき市遠野町根岸字風木坂の工場から出火。建物 1,158m ² を全焼した。 損害額 21,326 千円
昭和 53 年(1978) 11 月 19 日	工場火災	いわき市小名浜	午前 11 時 19 分ごろ、いわき市小名浜字芳浜 10 の工場から出火。 原因 予熱器の過熱とみられている 損害額 45,000 千円
昭和 54 年(1979) 5 月 13 日	住宅火災	いわき市平	午前 8 時 36 分ごろ、いわき市平下平窪字味噌農の住宅から出火。住宅 2 棟 131m ² が全焼した。 原因 子供の火遊び 損害額 12,312 千円
昭和 54 年(1979) 9 月 27 日	共同住宅火災	いわき市平	午前 0 時 22 分ごろ、いわき市平字紺屋町の共同住宅から出火。5 棟 292m ² が全焼し、9 世帯 12 名が焼け出された。 損害額 24,912 千円
昭和 54 年(1979) 10 月 7 日	作業所兼住宅火災	いわき市平	午前 1 時 28 分ごろ、いわき市平字旧城跡の住宅で出火。3 棟 72m ² が全焼、2 世帯 13 名が焼け出された。 損害額 28,572 千円

年月日	名称	発生場所	被害状況
昭和 54 年(1979) 10 月 21 日	工場火災	いわき市常磐	午前 1 時 15 分ごろ、いわき市常磐上湯長谷町釜ノ前の工場から出火。工場の一部 26m ² を焼失。 損害額 14,889 千円
昭和 54 年(1979) 11 月 14 日	併用住宅火災	いわき市平	午前 5 時 02 分ごろ、いわき市平字五町目の店舗兼住宅の住宅から出火。3 棟、2 世帯、327m ² が全焼。負傷者 2 名を出した。 損害額 13,396 千円
昭和 54 年(1979) 12 月 11 日	倉庫火災	いわき市四倉町	午前 8 時 20 分ごろ、いわき市四倉町字東二丁目の倉庫から出火。6 棟 1,485m ² が全焼。 損害額 11,417 千円
昭和 55 年(1980) 1 月 1 日	専用住宅火災	いわき市小名浜	午後 10 時 20 分ごろ、いわき市小名浜岡小名の住宅から出火。1 棟 106.31m ² が全焼した。 損害額 13,442 千円
昭和 55 年(1980) 1 月 21 日	併用住宅火災	いわき市小名浜	午後 0 時 00 分ごろ、いわき市小名浜字辰巳町の併用住宅から出火。1 棟全焼、2 棟部分焼 588.6m ² が焼失した。 損害額 33,205 千円
昭和 55 年(1980) 2 月 2 日	共同住宅火災	いわき市常磐	午後 11 時 10 分ごろ、いわき市常磐上湯長谷町の市営住宅から出火。1 区画住居部分 22m ² が全焼した。 損害額 1,756 千円
昭和 55 年(1980) 2 月 16 日	作業所火災	いわき市内郷	午前 8 時 30 分ごろ、いわき市内郷綴町の作業所から出火。1 棟 250.63m ² が全焼した。 損害額 28,853 千円
昭和 55 年(1980) 3 月 19 日	専用住宅火災	いわき市三和町	午前 8 時 00 分ごろ、いわき市三和町上永井地内の物置から出火。2 棟全焼、1 棟部分焼 212.52m ² を焼失した。 損害額 13,371 千円
昭和 55 年(1980) 4 月 22 日	合宿所火災	いわき市平	午前 11 時 39 分ごろ、いわき市平字高月の合宿所から出火。1 棟 255.26m ² が全焼した。 損害額 11,683 千円
昭和 55 年(1980) 5 月 16 日	共同住宅火災	いわき市平	午前 9 時 35 分ごろ、いわき市平赤井の共同住宅から出火。2 棟全焼、2 棟部分焼により 377.08m ² が焼失し、1 名が焼死した。 損害額 4,115 千円
昭和 55 年(1980) 6 月 8 日	併用住宅火災	いわき市小川町	午後 2 時 28 分ごろ、いわき市小川町高萩の店舗併用住宅から出火。1 棟 195m ² が全焼した。 損害額 16,318 千円
昭和 55 年(1980) 9 月 2 日	専用住宅火災	いわき市田人町	午前 10 時 48 分ごろ、いわき市田人町黒田の住宅から出火。2 棟 253m ² が全焼した。 損害額 12,314 千円
昭和 55 年(1980) 11 月 20 日	店舗火災	いわき市植田町	午前 3 時 00 分ごろ、いわき市植田町中央の貸店舗から出火。2 棟全焼、1 棟部分焼し、404m ² が焼失した。 損害額 43,173 千円
昭和 55 年(1980) 12 月 27 日	事務所火災	いわき市遠野町	午前 8 時 19 分ごろ、いわき市遠野町深山田の事務所から出火。1 棟 63.5m ² が全焼、1 名が焼死。 損害額 4,956 千円

年月日	名称	発生場所	被害状況
昭和 56 年(1981) 3 月 22 日	住宅火災	いわき市平	午後 6 時 52 分ごろ、いわき市平字旧城跡 27 の住宅から出火。住宅 5 棟 305m ² を焼失した。 原因 風呂かまどの不始末 損害額 18,124 千円
昭和 56 年(1981) 4 月 10 日	住宅火災	いわき市平	午前 9 時 41 分ごろ、いわき市平下高久字原 99 の住宅から出火。1 棟 149m ² を全焼した。 原因 不明 損害額 16,167 千円
昭和 56 年(1981) 4 月 23 日	林野火災	いわき市常磐	午前 11 時 30 分ごろ、いわき市常磐上湯長谷町辰ノ口 73 の 2 の林野から出火、2,625a を焼損した。 原因 たばこの不始末とみられている 損害額 17,644 千円
昭和 56 年(1981) 10 月 10 日	作業場兼用住宅	いわき市鹿島町	午後 10 時 10 分ごろ、いわき市鹿島町久保字薬師前 6 の 2 の作業場から出火。作業場併用住宅 2 棟 71m ² を焼失した。 原因 たばこの不始末とみられている 損害額 16,985 千円
昭和 57 年(1982) 2 月 26 日	漁網倉庫火災	いわき市小名浜	午後 2 時 45 分ごろ、いわき市小名浜下神白の漁網倉庫から出火。1 棟 180.35m ² が全焼、住宅 3 棟部分焼、漁網約 400 反焼損した。 損害額 44,212 千円
昭和 57 年(1982) 3 月 20 日	店舗兼住宅火災	いわき市常磐	午前 0 時 27 分ごろ、いわき市常磐湯本町の住宅部分から出火。1 棟 166.88m ² が全焼した。 損害額 38,644 千円
昭和 58 年(1983) 3 月 13 日	作業場火災	いわき市小名浜	午後 6 時 15 分ごろ、いわき市小名浜大原字曲淵地内の婦人服製造作業所から出火、建物 1 棟 564m ² を全焼した。 原因 不明 損害額 79,000 千円
昭和 58 年(1983) 9 月 9 日	その他の火災	いわき市小名浜	午前 1 時 25 分ごろ、いわき市小名浜字芳浜地内、東邦亜鉛小名浜製錬所の硫酸製造設備から出火。同設備及び吸煙道を焼損した。 原因 不明 損害額 70,000 千円
昭和 60 年(1985) 10 月 2 日	学校火災	いわき市久之浜町	午前 2 時ごろ、いわき市久之浜町久之浜地内の久之浜中学校から出火。同校舎 948m ² を焼失した。 原因 不明 損害額 17,286 千円
昭和 61 年(1986) 1 月 28 日	作業場火災	いわき市小川町	午後 0 時 22 分ごろ、いわき市小川町上平字中平 7 のスリッパ製造作業場から出火。作業場など 3 棟 483m ² を全焼した。 原因 不明 損害額 66,591 千円
昭和 61 年(1986) 3 月 23 日	寺院火災	いわき市四倉町	午後 4 時 35 分ごろ、いわき市四倉町薬王寺字塙 74 の教王院薬王寺の本堂から出火。本堂、庫裏 409m ² を全焼した。 原因 火ばちから火種がこぼれ畳に着火 損害額 42,639 千円
昭和 61 年(1986) 9 月 27 日	事務所及び倉庫火災	いわき市常磐	午前 0 時 45 分ごろ、いわき市常磐関船町上関 90 の常磐生活協同組合の事務所から出火。事務所及び倉庫等 4 棟 869m ² を全焼した。 原因 不明 損害額 38,668 千円

年月日	名称	発生場所	被害状況
昭和 62 年(1987) 4 月 24 日	林野火災	いわき市内郷綴町	午後 8 時 25 分ごろ、いわき市内郷綴町秋山 144 の 2 の私有林から出火。杉、松など 353a を焼損した。 原因 不明 損害額 2,093 千円
昭和 62 年(1987) 5 月 7 日	学校火災	いわき市勿来町	午前 6 時 55 分ごろ、いわき市勿来町酒井北ノ内 1、市立勿来第三小学校の保健室から出火、職員室など 356m ² を焼損した。 原因 不明 損害額 1,707 千円
昭和 62 年(1987) 12 月 25 日	学校火災	いわき市平上荒川	午前 3 時 48 分ごろ、いわき市平上荒川字長尾 30 の国立福島工業高等専門学校の光弾性実験室から出火、ゼミ室など 134m ² を焼損した。 原因 電気ストーブの熱により衣類に着火 損害額 3,176 千円
昭和 63 年(1988) 5 月 17 日	住宅火災	いわき市内郷高坂町	午前 1 時 09 分ごろ、いわき市内郷高坂町四方木田 125 番地の住宅から出火。1 棟 326m ² を全焼した。 原因 たばこの火の不始末 損害額 110,631 千円
平成元年(1989) 4 月 2 日	学校火災	いわき市平	午後 8 時 45 分ごろ、いわき市平字高月 7 の県立磐城高等学校の講堂から出火。同講堂 946m ² を全焼した。 原因 不明 損害額 24,081 千円
平成元年(1989) 4 月 4 日	林野火災	いわき市田人町	午前 12 時ごろ、いわき市田人町荷路夫字道ノ後 60 のいわき鶴石牧場の牧野から出火。牧野の枯草 2,950a、国有林の赤松林 50a を焼損した。 原因 たばこの火の不始末 損害額 495 千円
平成元年(1989) 11 月 5 日	住宅火災	いわき市平	午前 6 時 45 分ごろ、いわき市平字五町目 6 の住宅から出火。住宅など 2 棟が全焼、店舗等 2 棟が部分焼し、345m ² を焼損した。 死者 3 名、負傷者 2 名 原因 不明 損害額 129,926 千円
平成 2 年(1990) 5 月 12 日	店舗火災	いわき市平	午前 2 時 07 分ごろ、いわき市平字田町 36 の店舗から出火。店舗1棟 2,573m ² と商品を焼失した。 原因 不明 損害額 747,731 千円
平成 2 年(1990) 8 月 8 日	作業所・倉庫火災	いわき市小名浜	午前 9 時 34 分ごろ、いわき市小名浜岡小名字作前 7 のゴミ焼却炉の火の粉が木屑に着火し、作業所・倉庫 4 棟 1,179m ² を全半焼した。 損害額 164,892 千円
平成 2 年(1990) 11 月 6 日	特殊浴場住宅火災	いわき市小名浜	午前 3 時 10 分ごろ、いわき市小名浜字元分 1 番地の 7 の特殊浴場内待合室付近から出火、隣接する住宅など 2 棟 336m ² を全半焼した。 原因 不明 損害額 83,226 千円
平成 3 年(1991) 1 月 19 日	住宅火災	いわき市小名浜	午前 11 時 02 分ごろ、いわき市小名浜字古湊 129 番地の 3 の住宅から出火。隣接する住宅など 4 棟 226m ² を全半焼し、死者 1 名を出した。 原因 たばこの火の不始末 損害額 27,176 千円

年月日	名称	発生場所	被害状況
平成3年(1991) 1月27日	飲食店火災	いわき市平	午前4時05分ごろ、いわき市平字三町目36の飲食店厨房付近から出火。店舗複合用途ビルへ延焼3棟が全部分焼し、延べ341m ² を焼失した。 原因 不明 損害額 68,365千円
平成3年(1991) 6月2日	店舗住宅併用ビル火災	いわき市常磐	午前1時19分ごろ、いわき市常磐湯本町天王崎1番地の33の1階物置付近から出火。3階建の店舗併用住宅1棟304m ² を全焼し、死者2名を出した。 原因 不明 損害額 79,911千円
平成3年(1991) 11月17日	学校火災	いわき市平	午後7時30分ごろ、いわき市平字高月7の県立磐城高等学校のクラブ室から出火。1棟32m ² を全焼した。 原因 放火の疑い 損害額 3,630千円
平成4年(1992) 1月5日	工場火災	いわき市平	午後3時23分ごろ、いわき市平赤井字日渡128のプラスチック成形加工工場から出火。工場1棟274m ² を全焼した。 原因 不明 損害額 138,678千円
平成4年(1992) 4月12日	店舗併用住宅火災	いわき市植田町	午後7時38分ごろ、いわき市植田町本町13の店舗併用住宅及び住宅2棟417m ² を全焼した。 原因 石油コンロ 損害額 91,499千円
平成4年(1992) 4月26日	寺院火災	いわき市後田町	午前7時02分ごろ、いわき市後田町石田35の寺院の客殿から出火。客殿庫裡等5棟570m ² を全焼した。 原因 不明 損害額 30,827千円
平成4年(1992) 5月12日	倉庫・事務所火災	いわき市郷ヶ丘	午前5時44分ごろ、いわき市郷ヶ丘二丁目46番地の1の倉庫から出火。1棟277m ² を全焼した。 原因 不明 損害額 39,700千円
平成4年(1992) 6月1日	漁船火災	いわき市小名浜	午後10時51分ごろ、小名浜魚市場前岸壁係留の漁船(19t)から出火。2隻を全半焼した。 原因 不明 損害額 36,532千円
平成4年(1992) 10月24日	倉庫火災	いわき市久之浜町	午後7時25分ごろ、いわき市久之浜町末続字上長沢162の建築資材倉庫から出火。1棟540m ² を全焼した。 原因 不明 損害額 40,072千円
平成4年(1992) 11月3日	作業所併用住宅火災	いわき市常磐	午前9時04分ごろ、いわき市常磐上湯長谷町湯台堂104の作業所から出火。1棟176m ² を全焼。 原因 石油ストーブ 損害額 30,146千円
平成4年(1992) 12月15日	縫製工場火災	いわき市遠野町	午前7時28分ごろ、いわき市遠野町上遠野字川張38の工場から出火。ミシン等収容物を焼損した。 原因 電気アイロン 損害額 31,897千円
平成5年(1993) 4月27日	水産加工工場火災	いわき市泉町	午後8時35分ごろ、いわき市泉町滝尻字東越地の工場から出火。1棟686.34m ² を全焼した。 原因 アセチレンガス切断機 損害額 38,818千円
平成5年(1993) 5月1日	店舗火災	いわき市好間町	午後7時24分ごろ、いわき市好間町下好間字鬼越の店舗併用住宅から出火。隣接する住宅など5棟335m ² を焼損した。 原因 不明 損害額 40,425千円

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況
平成 7 年(1995) 2 月 20 日	漁船火災	いわき市小名浜	午前 1 時 35 分ごろ、千葉県勝浦市東方約 90 km 洋上で漁船から出火。小名浜港中央栈橋東側へ曳航し、消火活動を行う。漁船(164t)全焼。 損害額 35,000 千円 原因 機関室制御盤電線短絡
平成 7 年(1995) 4 月 5 日	住宅火災	いわき市平	午前 6 時 45 分ごろ、いわき市平南白土字八ツ坂の住宅から出火。隣接する共同住宅など 4 棟 176.36m ² を焼損し、死者 1 名を出した。 原因 ローソク 損害額 35,105 千円
平成 8 年(1996) 1 月 16 日	飲食店火災	いわき市平	午前 5 時 59 分ごろ、いわき市平字田町の飲食店から出火。隣接するビルなど 5 棟 323m ² を焼損した。 原因 電気機器 損害額 61,168 千円
平成 9 年(1997) 3 月 9 日	林野火災	いわき市平	午後 3 時 11 分ごろ、いわき市平菅波字南作国道 6 号バイパス造成現場から出火。山林 3,497a を焼損した。 出動延人員 1,792 名 防災ヘリコプター 3 機出動 負傷者 6 名 原因 たばこ 損害額 29,383 千円
平成 9 年(1997) 4 月 13 日	林野火災	いわき市常磐	午後 0 時 10 分ごろ、いわき市常磐湯本町高倉地内から出火、山林 3,600a を焼損した。 出動延人員 733 名 原因 不明 損害額 18,323 千円
平成 9 年(1997) 6 月 3 日	鉄道火災	いわき市川前町	午後 11 時 49 分ごろ、いわき市川前町川前字荷付場 JR 磐越東線関の沢踏切付近を走行中のマルチプルタイタンパー(線路建設保守用工作車)から出火。車両、軌道敷のレール、まくら木などを焼損した。 原因 不明 損害額 60,137 千円
平成 10 年(1998) 5 月 5 日	工場火災	いわき市錦町	午前 9 時 05 分ごろ、いわき市錦町落合の産業廃棄物中間処理施設(汚泥の脱水施設)から出火。1 棟 695.13m ² を全焼した。 原因 衝撃火花 損害額 89,887 千円
平成 12 年(2000) 8 月 22 日	遊戯場火災	いわき市勿来町	午後 11 時 09 分ごろ、いわき市勿来町四沢江代田地内の遊戯場から出火。1 棟 50 m ² 部分焼した。 原因 不明 損害額 48,031 千円
平成 13 年(2001) 3 月 30 日	塗装店火災	いわき市平	午後 3 時 57 分ごろ、いわき市平字小太郎町地内の塗装店から出火。隣接する建物など 2 棟 395m ² 全焼及び部分焼した。死者 3 名、負傷者 1 名 原因 石油ストーブ 損害額 3,283 千円
平成 14 年(2002) 3 月 29 日	工場火災	いわき市泉町	午前 11 時 30 分ごろ、いわき市泉町下川字境ノ町地内の産業廃棄物処理場施設から出火。1 棟 557.03 m ² 全焼及びパワーショベル 1 台を焼損した。 原因 卓上用コンロのガスボンベ 損害額 55,758 千円

年月日	名称	発生場所	被害状況
平成14年(2002) 5月7日	倉庫火災	いわき市小名浜大原	午後7時43分ごろ、いわき市小名浜大原字丁新地地内の漁網倉庫から出火。隣接する店舗併用住宅など7棟254.11㎡を全焼及び部分焼した。 原因 放火の疑い 損害額 34,667千円
平成14年(2002) 6月21日	集会場火災 (建築中)	いわき市勿来町	午前0時15分ごろ、いわき市勿来町関田須賀地内の建築中の建物から出火。4階建てのうち1階と2階部分1,851㎡を半焼した。 原因 放火 損害額 271,756千円
平成14年(2002) 10月23日	住宅火災	いわき市四倉町	午前5時40分ごろ、いわき市四倉町中島字中島地内の住宅から出火。隣接する物置など4棟201.12㎡を全焼及び部分焼した。 原因 不明 損害額 32,194千円
平成15年(2003) 3月27日	旅館火災	いわき市常磐白鳥町	午後10時30分ごろ、いわき市常磐白鳥町蟹打地内の旅館から出火。1棟622.8㎡を全焼した。 死者1名 原因 不明 損害額 31,772千円
平成15年(2003) 4月18日	林野火災	いわき市田人町	午前9時00分ごろ、いわき市田人町荷路夫地内の原野から出火。隣接する土砂流出防備保安林及び民有林8.5haを焼損した。 原因 たばこの投捨て 損害額 34,838千円
平成15年(2003) 4月28日	住宅火災	いわき市小名浜諏訪町	午前1時52分ごろ、いわき市小名浜諏訪町地内の住宅から出火。隣接する建物5棟752.69㎡を全焼及び部分焼、車両2台を焼損した。 原因 不明 損害額 182,054千円
平成17年(2005) 4月8日	林野火災	いわき市内郷高野町	午前10時25分ごろ、いわき市内郷高野町銅景地内の山林から出火。植林した杉林及び檜、雑木林47.75haを焼損した。 原因 たばこの投捨て 損害額 16,737千円
平成17年(2005) 5月11日	工場火災	いわき市泉町	午後6時10分ごろ、いわき市泉町下川地内の化学工場から出火。4棟4,023㎡を全焼し、従業員3名が負傷した。また、爆風により、15棟が損害を受けた。 原因は、グリニャール反応が停滞しているにもかかわらず、原料を導入したため、ある時点で急激に反応が開始し、暴走反応に至り反応器のフランジ等から内容物が漏れ出し、暴走反応によって発生した反応熱により着火し、爆発火災に至ったものと考えられる。 損害額 1,508,811千円 総務省消防庁調査依頼
平成18年(2006) 9月7日	工場火災	いわき市勿来町大高	午前4時30分ごろ、いわき市勿来町大高地内の化学工場から出火。6階建の危険物一般取扱所延べ面積3,628.43㎡のうち約1,260㎡を焼損した。 原因は、PPS樹脂製造中、運転員の誤操作により反応缶の温度調整が不可能になり、缶内の圧力が上昇したため、安全弁が作動し、缶内で発火点に達した重合溶媒(第三石油類)が安全弁から噴出して、大気中で発火したこと。 原因 その他 被害額 351,023千円

年月日	名称	発生場所	被害状況
平成19年(2007) 5月10日	住宅火災	いわき市平字愛谷町	午前4時35分ごろ、いわき市平字愛谷町三丁目地内の住宅から出火、1棟 152.14 m ² のうち 35.33 m ² を半焼した。死者3名 原因 放火の疑い 損害額 4,406 千円
平成20年(2008) 12月26日	老人福祉施設火災	いわき市泉町	午後10時04分ごろ、いわき市泉町滝尻地内の老人福祉施設から出火。1棟 379.89 m ² のうち 93.2 m ² を半焼した。死者2名、負傷者3名 原因は、マッサージに使用したオイルの染み込んだタオルを、洗濯後に乾燥機で乾燥したことにより、オイルの酸化が進み、さらに、そのタオルを畳んだ状態でリネン室内の棚に重ねて収納したため、酸化熱が蓄積され、自然発火し火災に至ったものと考えられる。 損害額 21,567 千円 総務省消防庁調査依頼
平成21年(2009) 1月5日	工場火災	いわき市小名浜	午後3時50分ごろ、いわき市小名浜字渚地内の工場から出火。爆風により従業員6名が負傷し、19棟が損害を受けた。 原因は、吸着剤を製造する際に使用する溶剤の純度を高めるため、混合物を蒸留塔とリボイラーで蒸留精製する作業中に、不純物の濃度が高かったために、溶剤の熱分解反応を引き起こし、密閉されたリボイラー内で温度が上昇し、暴走的な熱反応に発展して、急激な圧力上昇が起こり、リボイラーの耐圧強度を越えて爆発したものと考えられる。 損害額 51,770 千円 総務省消防庁調査依頼
平成23年(2011) 3月11日	津波に起因する火災	いわき市久之浜町 いわき市平薄磯	東北地方太平洋沖地震に起因して発生した津波により、いわき市久之浜町久之浜字北町地内で、17,400 m ² 、いわき市平薄磯字北街地内で2,600 m ² にわたり、流出した建物、車両等を焼損した。 原因 不明 損害額 不明
平成24年(2012) 1月29日	遊技場火災	いわき市常磐	午前9時45分ごろ、いわき市常磐関船町地内の遊技場から出火し、出火建物1棟 2,550 m ² を全焼した他、出火建物周囲の3棟を焼損し、12時44分に鎮火した。 原因 電気配線 損害額 142,259 千円
平成25年(2013) 1月16日	住宅火災	いわき市小名浜	午後6時00分ごろ、いわき市小名浜花畑町地内の住宅から出火し、隣接する建物など6棟 490.07 m ² を焼損した。(全焼4棟、部分焼1棟及びぼや1棟) 原因 不明 損害額 62,990 千円

年月日	名称	発生場所	被害状況
平成26年(2014) 4月12日	林野火災	いわき市三和町	午後1時ごろ、いわき市三和町下永井地内の山林から出火し、山林28.9haを焼損した。 翌日午後5時29分に鎮火した。 防災ヘリ3機出動 原因 たばこ 損害額 4,564千円
平成28年(2016) 10月6日	応急仮設住宅火災	いわき市好間町	午後4時10分ごろ、いわき市好間工業団地地内の応急仮設住宅から出火し、隣接する4棟の応急仮設住宅を含む10棟681㎡を焼損した。 (全焼7棟及びぼや3棟) 原因 白熱灯 損害額 42,392千円
平成29年(2017) 9月30日	店舗火災	いわき市鹿島町	午後3時53分ごろ、いわき市鹿島町御代地内の店舗から出火し、1棟820.98㎡のうち702.90㎡を焼損した。 原因 放火の疑い 損害額 72,976千円
令和元年(2019) 11月19日	廃棄物処理施設火災	いわき市山田町	午後2時40分ごろ、いわき市山田町家ノ前地内の廃棄物処理施設から出火し、1棟610.50㎡のうち126.32㎡を半焼し、粗大ごみ破碎選別設備を焼損した。 原因 リチウム電池 損害額 87,200千円
令和3年(2021) 3月12日	住宅火災	いわき市四倉町	午後11時10分ごろ、いわき市四倉町字梅ヶ丘南地内の住宅から出火し、隣接する建物など7棟361.09㎡を焼損した。死者1名 (全焼3棟、部分焼2棟及びぼや2棟) 原因 放火の疑い 損害額 31,171千円
令和3年(2021) 5月11日	工場火災	いわき市常磐	午前7時42分ごろ、いわき市常磐岩ヶ岡町地内の化学工場(危険物一般取扱所)から出火。爆風により従業員4名が負傷し、1棟全焼及び周辺事業所が爆風による損害を受けた。 概要は、粉体分級装置の工程内(分級ファン)において、高温金属摩耗片が粉塵に着火し、爆発が発生したもの。 原因 腐食疲労等劣化 被害額 11,867千円
<u>令和5年(2023) 4月10日</u>	<u>旅館火災</u>	<u>いわき市小名浜</u>	<u>午前1時54分ごろ、いわき市小名浜字沖見地内の旅館から出火し、隣接する建物など4棟930.65㎡を焼損した。負傷者1名。</u> <u>(半焼1棟、部分焼3棟)</u> <u>原因 放火の疑い 損害額 37,662千円</u>
<u>令和6年(2024) 5月26日</u>	<u>繁華街火災</u>	<u>いわき市平</u>	<u>午前10時ごろ、いわき市平字田町地内の繁華街で火災が発生し、主に飲食店が入る雑居ビル13棟を焼損した。</u> <u>(全焼5棟、半焼2棟、部分焼5棟、ぼや1棟)</u> <u>※原因及び損害額については、令和6年9月1日現在調査中。</u>

風 水 害

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況
寛文11年(1671) 9月29日	暴風雨	県下全域	県下全域に暴風雨があり、平城が破損し、会津地方は洪水だった。
元禄8年(1695) 4月30日	風害	磐城地方	磐城地方に強風が吹き、家屋647戸が倒壊し、樹木7,795本が倒折した。
享保6年(1721) 8月24日	水害	磐城地方	磐城地方に大雨が降り、平の一町目・二町目では床上5～6尺の浸水になった。
享保8年(1723) 10月8日	水害	平	平付近に洪水があり、平藩領で穀類24,290石を水損した。
文化14年(1817) 10月20日	水害	磐城地方	磐城地方に大雨が降り、洪水のため多くの稲束が流失した。
明治32年(1899) 10月7日	暴風雨	県下全域	7日台風により、暴風雨となり石城地方では漁船が転覆し、乗組員12名が死亡した。
明治32年(1899) 12月24日	風害	県下全域	24日、県下全域に強風が吹き、各地に被害が続出した。
明治34年(1901) 2月8日	風害	石城郡四倉町	この強風は7日、本県沖に発達した低気圧が北上したあと、大陸の高気圧が急速に張り出し、西北西の強い季節風が吹き、特に石城地方の風はすごく、四倉では屋根瓦が吹き飛ばされたり、戸を壊されるなど住家385戸が破損する被害を出した。
明治40年(1907) 8月27日 、 28日	水害	県下全域	27日～28日にかけて県内各地に100mm以上の大雨が降り、各河川が氾濫して大きな被害を出した。 この豪雨によって県内で死者9名・負傷者6名、家流失9戸、床上浸水162戸、堤防決壊28箇所1,285間、山崩れ1箇所、水田流失185町歩・浸水6,176町歩、畑流失115町歩・浸水4,436町歩・山林原野の流失47町歩・浸水54町歩の被害が出た。浜通り北部の各河川流域に被害が大きく、小名浜116.9mm、平97.8mmの降水量があった。
明治41年(1908) 8月7日 、 8日	風水害	県下全域	7日夜から8日朝にかけて県下全域が暴風雨となり、各地に被害を出した。県内での最大風速は、7日午後1時に南西風6.7m/s、8日午前2時には南南東風7.4m/sであった。
明治41年(1908) 9月29日 、 30日	水害	中通り・ 浜通り地方	29日夜から30日にかけて中通り中部と浜通りに100mmを越す大雨が降った。そのため石城・相馬および安積地方にはとくに大きな被害を出した。県下全般の被害は死者6名、住家浸水819戸、橋の流失45、田畑浸水10,814町歩、船の流失1であった。

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況
明治42年(1909) 5月16日 ～ 17日	風害	中通り・ 浜通り地方	16日から18日にかけて中通りと浜通り地方に強風が吹き、石城郡下では負傷者2名、住家全壊15戸、半壊35戸、破損492戸などの被害が生じ、県下全域では負傷者8名、住家全壊335戸、小学校6校、半壊149戸、破損3,566戸に上った。
明治44年(1911) 6月19日 ～ 20日	風害	浜通り地方	19日から20日にかけ浜通り地方は強風が吹いた。とくに小名浜地方では20m/sを越える暴風となり、死者1名、住家全壊4戸、半壊14戸、浸水35、田畑浸水65町歩、崖崩れ1箇所の被害を出した。
明治44年(1911) 6月28日	水害	県下全域	28日、県下全域に梅雨前線による大雨があり、浜通り地方でも堤防決壊や田畑浸水が多数でた。
明治44年(1911) 7月26日 ～ 27日	水害	県下全域	26日夜半から27日にかけて県下全域にわたり大雨が降り、各地に被害が発生し、石城地方では住家浸水50戸と漁船沈没3隻、乗組員5名が死亡した。
大正元年(1912) 8月31日 ～ 9月1日	風水害	中通り・ 浜通り地方	31日から1日にかけて台風で暴風雨となり、各地に被害が続出した。海岸に高波が押し寄せ、四倉で2戸流失、豊間で2戸半壊、床下浸水100戸の被害を受けた。
大正3年(1914) 4月8日	暴風雨	中通り・ 浜通り地方	8日、中通り地方一帯に風雪をとまなう強風があり、石城地方では大雨が降り、田畑浸水62町歩を出したほか四倉沖で漁船2隻が沈没した。
大正4年(1915) 4月29日	濃霧	石城郡平町	29日午前4時30分ごろ、石城郡平町方面は濃霧で見通しが極めて悪く、平駅構内で貨物列車と機関車が正面衝突を起こし、貨車6両が転覆し、うち2両は大破した。
大正5年(1916) 8月9日	水害	中通り南部・ 石城地方	9日、各地に激しい雷雨があり、石城郡内郷村にも浸水被害を出した。
大正7年(1918) 3月12日	風害	石城地方	12日、石城地方で強風があり、小名浜港で係留中の船40隻が海岸に打ち上げられて破損する被害を受けた。
大正7年(1918) 8月6日	高潮	石城海岸	6日夜、石城地方の海岸に高波が押し寄せ、鮫川が逆流して水田冠水40町歩、四倉で床下浸水12戸、久之浜で海岸の防風林の樹木が倒れ、子供1名が死亡した。
大正9年(1920) 5月7日 ～ 8日	水害	浜通り地方	7日から8日にかけて、浜通り一帯に大雨が降り、253.1mmの雨量となった。 夏井川が増水して平町で、家屋浸水100戸以上を出した。
大正9年(1920) 10月1日	水害	中通り・ 浜通り地方	30日夕刻から1日朝にかけて、浜通り地方を中心に大雨が降り、河川が増水氾濫し、各地に被害を出した。

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況
			石城地方では死者 24 名、住家流失 11 戸、全壊 20 戸、半壊 40 戸、床上浸水 3,907 戸、床下浸水 3,196 戸、非住家流失 9 棟、全壊 9 棟、半壊 10 棟、浸水 2,768 棟、橋流失 11 箇所、田流失 561 町歩、田浸水 3,500 町歩、畑流失 388 町歩、畑浸水 1,359 町歩を出し、平町では全町の 7 割が浸水し、3 名の行方不明を出し、家屋倒壊などの被害を出した。常磐線では、トンネルの崩壊・鉄橋破損や線路浸水のため不通となり、磐越東線も夏井川の氾濫で線路に浸水し、不通となる。 小名浜で 1 日最大風速は、北西風 7.7m/s、総降水量は 237.9 mm。
大正 11 年(1922) 2 月 16 日 ～ 17 日	風水害	浜通り地方	16 日夜から 17 日の明け方にかけて、暴風雨となりとくに石城郡と双葉郡に大きな被害を出した。総合被害は死者 184 名、行方不明 35 名、負傷者 13 名、住家全壊 220 戸、半壊 525 戸、流失 106 棟、堤防決壊 180 箇所、堤防破損 168 箇所、道路破損 476 箇所、橋流失 217 箇所、橋破損 8 箇所におよび常磐線は不通になる。また、電信・電話の不通や停電があり、家屋や田畑の浸水が各地に続出した。 小名浜では 17 日午前 3 時最大風速 12.1m/s、降水量 133.7 mm。
大正 11 年(1922) 8 月 24 日	風水害	県下全域	24 日、県下各地は暴風雨に見舞われた。石城海岸では高波のため、各河川が逆流して泉・錦地区で水田 100 町歩、畑 43 町歩が浸水した。
大正 13 年(1924) 5 月 9 日	風害	中通り・ 浜通り地方	9 日、中通り地方と浜通り地方に強風があり、相馬郡・石城郡でも桑が 2～3 割の被害を受けた。
大正 14 年(1925) 8 月 14 日 ～ 15 日	水害	中通り・ 浜通り地方	14 日～15 日にかけて、浜通り・中通り地方に大雨が降り、水郡線・磐越東線・常磐線は、一時不通となった。
昭和 3 年(1928) 7 月 26 日	水害	浜通り地方	26 日、浜通り一帯に大雨が降り、このため石城郡植田町付近で床上浸水 5 戸、床下浸水 50 戸、田畑浸水 50 町歩、江名で床下浸水 60 戸の被害を受けた。
昭和 4 年(1929) 5 月 23 日 ～ 24 日	水害 (台風) 中心気圧 980hPa	県下全般	23 日から 24 日朝にかけて、本県沖を通った台風並の低気圧(中心気圧 980hPa)により、県下全域が暴風雨による被害を受けた。被害は浜通り地方が最も多く、県下全般で住家全壊 18 戸、流失 3 戸、浸水 743 戸、水田被害 1,321 町歩、畑被害 967 町歩、橋 249 箇所、道路 898 箇所、堤防決壊 544 箇所などの被害となり、土木関係だけでも損害額は 258 万円に達した。

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況
昭和6年(1931) 10月13日 、 14日	水害 (台風) 中心気圧 980hPa 風 29m/s	中通り・ 浜通り地方	13日午前中から雨が降り出し、夕方から暴風雨となり、石城郡平町で家屋浸水50戸、内郷村で家屋浸水100戸、湯本町で床下浸水20戸、四倉町で床下浸水30戸を出した。
昭和7年(1932) 6月25日	水害	平地方	25日午後、石城郡平地方に強い雷雨があり、平町内の一町目・二町目・田町・梅ヶ町仲間町の全域が床下浸水した。
昭和7年(1932) 11月15日	水害 (台風) 中心気圧 953hPa 風 35m/s	浜通り地方	15日朝、季節はずれの台風により県下全域に暴風雨となり、小名浜で168.2mmを記録し、浜通り全域で死者27名、重傷者3名、行方不明53名、住家全壊48戸、半壊59戸、床上床下合わせて5,000戸、船舶の沈没5隻、流失357隻、破損11隻、道路破損191箇所、橋流失162箇所、堤防決壊570箇所、田浸水2,641町歩、損害額600万円に達した。
昭和9年(1934) 2月20日	高潮	浜通り海岸	20日、浜通り海岸に高波が押し寄せ、双葉郡久之浜町では堤防60間が決壊して、海水が町内に浸水し、住家4戸、非住家4棟を全壊した。 また、石城郡江名町で漁師2名が海中に転落死亡した。
昭和9年(1934) 9月21日	室戸台風 (風害)	県下全域	21日朝から県下全域は暴風雨となり、県内では死者1名、負傷者2名、住家全壊41戸、半壊300戸、非住家倒壊7棟、船2隻が大破したほか、屋根・樹木・電話線などの被害が続出した。 小名浜で最大風速23.0m/s、降水量5.7mmであった。
昭和10年(1935) 3月25日	風害 中心気圧 960hPa	中通り・ 浜通り地方	25日昼ごろから県下全域に強風が吹き、中通り・浜通り地方に被害が続出し、死者1名、重傷者3名、住家倒壊16戸、非住家倒壊5棟、屋根の吹きとばされた住家6戸、非住家18棟のほか、煙突、板ベイ、電話などに多くの被害を出した。 小名浜の降水量50mm。
昭和10年(1935) 10月26日 、 27日	水害	浜通り南部	26日夜から降り出した雨は27日午後になって雷を伴う豪雨となり、浜通り地方で100mmを越す大雨となった。特に石城郡上遠野では300mmにも達し、浜通り南部を中心に死者19名、行方不明12名、負傷者51名、住家浸水1,923戸(内郷900戸、植田500戸)、道路損壊8箇所、堤防決壊4箇所、橋流失5箇所、田畑流失浸水397町2反歩となった。
昭和12年(1937) 2月2日	水害	浜通り南部	2日、平地方に大雨が降り、このため平町で床下浸水100戸を出したほか、崖崩れで1名死亡、勿来で70戸、山田村で15戸、錦で10戸の床下浸水の被害を出した。

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況
昭和12年(1937) 9月10日 ～ 11日	水害	県下全般	10日昼ごろから雨が降り出し、夜おそくなつて本降りとなり、11日昼ごろから南寄りの強風が加わって暴風雨となった。 このため、各地に被害が起き、死者17名、負傷者2名、住家全壊31戸、半壊6戸、床上浸水951戸、床下浸水2,281戸、田畑浸水45,900町歩に及んだ。
昭和13年(1938) 6月28日 ～ 30日	水害 (台風) 中心気圧 973hPa	中通り・ 浜通り地方	28日朝方から雨が降り出し、29日・30日とも強風に見舞われ、小名浜では3日間に351mmの雨量を記録し、各地に被害を出した。死者17名、負傷者3名、住家全壊31戸、半壊6戸、床上浸水951戸、床下浸水2,281戸、田畑冠浸水45,900町歩、道路損壊16箇所、橋流失5箇所、堤防決壊5箇所の被害となった。
昭和13年(1938) 12月23日 ～ 24日	高潮	浜通り海岸	23日朝から24日にかけて、浜通り地方は暴風雨となり、特に小名浜港では大波が打ち寄せ、避難停泊中の漁船10隻が沈没、20隻が大破した。 損害額 50万円
昭和16年(1941) 6月5日 ～ 6日	水害	浜通り南部	5日夜から県下一帯に大雨が降り、特に浜通り南部地方に被害が出た。被害は床上浸水70戸、床下浸水1,001戸、田冠水220町歩、畑浸水8町歩、小名浜港の堤防決壊による損害額3万円。
昭和16年(1941) 7月22日 ～ 23日	水害 台風8号 中心気圧 967hPa 風 30m/s	県下全域	22日夜中から23日朝にかけて、県下全域は台風により暴風雨となった。そのため県内各地で雨量が100mmを越え、浜通り地方は300mm以上の豪雨となり、大きな水害を受けた。 小名浜では最大風速13m/s、降水量192mmであった。
昭和16年(1941) 9月6日	水害 台風21号 中心気圧 954hPa 風 26m/s	浜通り南部地方	6日、浜通り南部地方に大雨があり、床下浸水64戸、田畑冠浸水385町歩、海岸堤防決壊1,346mの被害を出した。
昭和18年(1943) 10月2日 ～ 3日	風水害 台風27号 中心気圧 947hPa 風 45m/s	中通り・ 浜通り地方	2日から台風の接近により風雨が強まり、3日は県下全域が暴風雨となった。 小名浜で最大風速21.2m/s、降水量175mmであった。
昭和19年(1944) 10月6日 ～ 8日	風水害 台風20号 中心気圧 933hPa 風 26m/s	県下全域	6日の夜半から前線活動が活発化し、雨が強くなり、7日夜半から風が強まり県下各地は暴風雨となって8日午後まで続いた。特に浜通り地方南部は400mmを越す豪雨となり、大きな被害を受けた。 小名浜で最大風速21.0m/s、降水量164mmであった。

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況
昭和20年(1945) 10月4日 ～ 5日	水害 台風19号 中心気圧 985hPa	中通り ・浜通り地方	4日夜から5日にかけて大雨が降り、中通りと浜通り地方で死者2名、家屋全半壊5戸、床下浸水15戸、田浸水350町歩、畑浸水100町歩、橋・道路・堤防の被害26箇所を出した。
昭和21年(1946) 3月7日 ～ 8日	風害	浜通り南部	7日夜半から8日にかけて強風が吹き、小名浜では瞬間最大風速29.1m/sとなり、平市内で平商業高校の仮校舎が倒壊。内郷では倉庫、工場など7棟が倒壊。住家の屋根・板べいが吹き飛ばされた。 小名浜港では漁船8隻が強風により衝突、2隻が沈没、4隻が大中破した。 江名港でも1隻行方不明となった。
昭和22年(1947) 4月21日 ～ 22日	風害	県下全域	21日夕刻から22日夕刻まで、一昼夜にわたり県下一帯に強風が吹き荒れ、各地に被害を出した。このため倒壊家屋の下敷きになり6名が死亡、住家全壊192棟、半壊135棟、非住家全半壊165棟、屋根を吹き飛ばされたもの1,450棟。その他農作物にも被害。
昭和23年(1948) 8月18日	水害	石城郡	18日夕刻、石城地方に大雨があり、田畑400町歩が浸水した。
昭和23年(1948) 9月15日 ～ 17日	アイオン台風 中心気圧 940hPa	県下全域	15日夜半から雨が降り出し、16日朝から風雨が強く午前10時ごろ暴風雨となり、17日午前10時ごろまで降り続いた。 雨量は山岳部で250mm、平野部でも150mm以上という豪雨となり、浜通りは10m以上の強風が13時間も吹き続き、大被害を出した。このため県下全域の総被害額は33億1,200万円に達した。
昭和24年(1949) 6月19日 ～ 20日	デラ台風 中心気圧 960hPa 風 50m/s	中通り・ 浜通り地方	19日から20日にかけて中通りと浜通り地方に大雨が降り、被害は浜通りに多かった。住家床下浸水30戸、非住家流失1棟、水田流失224町歩、冠水4,786町歩、畑流失埋没3町歩、畑浸水158町歩、道路損壊13箇所、堤防決壊13箇所を出した。
昭和24年(1949) 8月31日 ～ 9月1日	キティ台風 中心気圧 956hPa 風 36m/s	県下全域	県下全域の被害は死者2名、行方不明15名のほか各地に大きな被害を出した。
昭和25年(1950) 4月1日 ～ 2日	水害	県下全域	1日から2日にかけて県下全域に大雨が降り、小名浜港でも暴風雨のため漁船2隻が沈没した。 小名浜で最大風速17.4m/s、降水量53.0mmであった。
昭和25年(1950) 8月2日 ～ 5日	風水害	県下全域	2日から5日まで台風の接近により強い風雨が続き、石城郡四時川で362mmの大雨となり、県下各地に被害を出した。 小名浜で最大風速18.4m/s、降水量199.4mmであった。

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況
昭和25年(1950) 9月19日 ～ 20日	高潮 台風33号 中心気圧 975hPa 風 35～40m/s	浜通り海岸	19日夜から20日夜にかけて浜通り海岸に高波が押し寄せ、石城郡四倉港の護岸決壊4箇所140万円。総被害額3,740万円。
昭和27年(1952) 4月1・3日	高潮	浜通り海岸	1日午前5時30分ごろ、双葉郡久之浜町字東町地内に高波が押し寄せ、堤防2箇所70m決壊、波が浸入して住家7戸、43名が水びたしになり避難した。
昭和27年(1952) 6月6日	水害	浜通り地方	浜通り地方に風速16.5mの強風をともなう大雨が降り、小名浜では131mmの雨量となった。この大雨のため負傷者2名、住家半壊2戸、浸水65戸、田畑浸水1,040町歩の被害を出した。
昭和27年(1952) 10月2日 ～ 3日	高潮	浜通り海岸	2日夜から3日未明にかけて浜通り海岸に高波が押し寄せ、久之浜で浸水5戸、四倉町で堤防決壊200m、住家浸水15戸、豊間町で堤防決壊400m、沼ノ内海岸でも堤防決壊215m、新地村で住家浸水15戸を出した。
昭和29年(1954) 6月24日	水害	中通り・ 浜通り地方	24日午後各地に強い雷雨があり、石城郡で田冠水300町歩、電話150回線が不通となる被害を出した。
昭和29年(1954) 7月10・11日	水害	浜通り地方	10日から11日にかけて浜通り地方に大雨があり、石城地方でも田冠水90町歩、畑浸水25町歩の被害を出した。
昭和30年(1955) 5月29日 ～ 30日	水害	中通り南部・ いわき地方	29日夜から30日にかけて、県下全域に強い風雨があり、浜通りでは100mmを越える大雨が降り、磐城市では床下浸水80戸を出した。
昭和30年(1955) 10月11日	水害 台風25号 中心気圧 955hPa 風 45m/s	浜通り地方	11日、台風の影響で浜通り地方に大雨が降り、住家床上浸水65戸、田冠水132町歩、畑浸水10町歩の被害を出した。
昭和30年(1955) 12月26日 ～ 27日	高潮	浜通り海岸	26日から27日にかけて15～16m/sの強風が雨をまじえて吹き続き、この風に乗って浜通り海岸に高波が押し寄せ、久之浜・豊間・江名・勿来の漁港でも堤防決壊や浸水家屋を出した。27日の満潮時には平市沼ノ内の県道が波に洗われて海水が多量に浸入した。 小名浜で最大風速16.9m/s、最大瞬間風速24.9m/sであった。

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況
昭和31年(1956) 9月27日	水害 台風15号 中心気圧 953hPa 風 45m/s 台風17号 中心気圧 990hPa 風 23m/s	中通り南部 ・浜通り地方	27日、台風の影響で県南地方と浜通り一帯に大雨があり、家屋床下浸水20戸、田畑冠水120町歩、堤防決壊2箇所、山崩れ20箇所、鉄道被害などの損害を出した。
昭和32年(1957) 3月9日 ～ 17日	高潮	浜通り海岸	高波が久之浜海岸を中心に平市豊間でも堤防決壊、亀裂、土砂流失、家屋流失、床下浸水、水田浸水などの被害を出した。
昭和33年(1958) 9月17日 ～ 18日	風水害 台風21号 中心気圧 920hPa 風 60m/s	県下全域	17日昼ごろから県下全域に雨が降り出し、18日朝まで100mmを越す大雨となったところもあり、県下の被害総額は37億円に達した。 小名浜で最大風速 13.9m/s 瞬間風速 18.3m/s 降雨量 84.8mmであった。
昭和33年(1958) 9月26日 ～ 27日	狩野川台風 中心気圧 880hPa 風 75m/s	県下全域	26日夜半から27日朝まで各地で大雨が降り、300mmを越す豪雨となった。磐城市小名浜や江名海岸には高潮が襲来して数十戸が全半壊する被害を出した。 県下の総被害は死者23名、行方不明2名、重軽傷者136名を出したほか、被害総額98億3,240万円に達した。小名浜で最大風速 21.0m/s、最大瞬間風速 28.2m/s、降水量 140.7mmであった。
昭和34年(1959) 8月8日 ～ 10日	風水害 台風6号 中心気圧 965hPa 風 50m/s	浜通り地方	8日から浜通りでは小雨が降り、9日早朝から10日朝まで暴風雨となり、多大な被害を出し565世帯2,743名のり災者を出した。 小名浜で最大風速 12.5m/s、最大瞬間風速 17.2m/s、降水量 109.9mmであった。
昭和34年(1959) 9月24日 ～ 27日	伊勢湾台風 中心気圧 895hPa 風 75m/s	県下全域	24日ごろから雨が降り出し、25日夕方雨は本降りとなって県南地方で100mmを越える大雨となり、また、27日になって10m/s以上の強風が吹き続いた。 このため水害と強風が重なって大きな被害を出し、死者6名、負傷者24名、住家全壊240戸、半壊234戸、流失2戸をはじめ農作物、土文関係など大きな被害を出し、県内の被害総額は17億9,917万円に達した。 小名浜で最大風速 22.9m/s、最大瞬間風速 27.1m/s、降水量 78.3mmであった。

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況
昭和35年(1960) 10月20日 ゝ 21日	高潮	浜通り海岸	海岸一帯に高波が押し寄せ、21日には満潮時と重なって波の高さが7mになったところもあった。磐城市江名町、勿来市勿来港、平市豊間、石城郡四倉町、その他の海岸などで被害を出した。 県内の被害総額は1億4,415万円に達した。
昭和36年(1961) 9月10日	高潮	中通り南部・ 浜通り地方	10日夜、県南地方と浜通り南部に集中的に大雨が降り、住家全壊1戸、床上浸水6戸、床下浸水76戸、水田冠水250ha、道路、橋、堤防などにも被害を出した。
昭和36年(1961) 10月9日 ゝ 10日	風水害	浜通り地方	9日の日中から降り出した雨は、10日になり更に強まり、特に浜通りでは暴風雨となり、各地に被害を続出させた。 このため県下の被害総額は4億4,754万円に達した。
昭和36年(1961) 10月28日 ゝ 29日	高潮	浜通り海岸	28日夜半から29日朝にかけて、本県沖を通った台風の余波で、浜通り海岸に高波が押し寄せ、各地の堤防が決壊するなどの被害を出した。 損害額2億2,000万円に達した。
昭和37年(1962) 7月13日 ゝ 14日	水害	県下全域	梅雨前線の停滞により、県下一帯に強い雷雨を伴う大雨が降り、特に浜通りの勿来などでは200mmを越すところがあった。 このため、県内の被害総額は6億1,231万円に達した。
昭和37年(1962) 8月19日 ゝ 20日	高潮	浜通り海岸	19日夜半から20日早朝にかけて、石城地方の海岸に高波が押し寄せ、四倉町・久之浜町では川が逆流して街にあふれ、床下浸水35戸を出した。また、堤防決壊が5箇所あった。
昭和37年(1962) 12月5日 ゝ 6日	高潮	浜通り海岸	5日夜から6日朝にかけて、海岸に3～5mの高波が押し寄せ、久之浜町では家屋浸水2戸、平市沼ノ内港内の防波堤150mが決壊。漁船1隻沈没。
昭和38年(1963) 1月7日	高潮	浜通り海岸	7日浜通り海岸に高さ3～4mの高潮が押し寄せ、満潮時の正午から3時ごろの間に各地に被害を出した。平の海岸では滑津川が逆流して、田畑冠浸水31haの被害を出した。 この高潮の被害額は1億7,000万円に達した。
昭和39年(1964) 1月29日 ゝ 30日	高潮	浜通り海岸	29日から30日にかけて双葉地方海岸に高波が押し寄せ、平市沼ノ内沖でもタコツボ1万個を流失したほか、四倉町でも港湾施設に370万円の被害を出した。
昭和39年(1964) 8月22日 ゝ 24日 及び8月29日	水害	中通り・ 浜通り地方	22日、中通り・浜通り地方は大雨となり、23日から24日にかけては浜通り地方に200mm前後の大雨が降り、河川が氾濫し家屋浸水3,200戸を出したのをはじめ石城地方では避難命令を出した地区もあり、被害総額18億427万円に達した。

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況
			また、29 日石城地方に再び大雨が降り、藤原川、新川の補修箇所が決壊して家屋床下浸水 80 戸を出した。
昭和40年(1965) 1 月 17 日 〃 18 日	高潮	浜通り海岸	17 日夜から 18 日にかけて、双葉郡浪江町から四倉海岸にかけて高さ 4 m の高波が押し寄せた。このため四倉町上仁井田地内でも防波堤が決壊し、6 世帯が避難した。 この高波による総被害額は 2 億 3,854 万円に達した。
昭和40年(1965) 3 月 22 日	高潮	浜通り海岸	21 日夜から 22 日にかけて、浜通り地方に 4 ～ 5 m の高波が押し寄せ、このため久之浜町・浪江町、四倉町海岸一帯の各地で堤防が 20～140m 決壊し、付近の住民が避難した。 被害額 4 億 2,843 万円に達した。
昭和40年(1965) 5 月 26 日 〃 27 日	水害	浜通り地方	26 日から降りはじめ 27 日には風も加わり激しい雨となり、いわき地方でも 130mm 前後の大雨となり、各地で河川が氾濫し、被害が生じた。 被害総額は 3 億 3,000 万円に達した。
昭和40年(1965) 9 月 10 日	風害	県下全域	10 日午後から強風が吹き荒れ、小名浜でも 23m を記録した。 この強風による被害総額 1 億 1,722 万円に達した。
昭和40年(1965) 10 月 5 日	高潮	浜通り海岸	台風の影響で浜通り沿岸に高波が押し寄せ、小名浜、久之浜町字南町などの一部決壊し、家屋、水産関係に被害総額 1 億 7,576 万円を出した。
昭和40年(1965) 10 月 19 日	波浪	浜通り海岸	台風の影響により永崎・富岡・四倉海岸などで堤防・港湾など 8 箇所 1,400 万円の被害を出した。 また、磐城沖を航海中の貨物船が小名浜港に避難しようとして中之作港沖で坐礁した。
昭和41年(1966) 1 月 4 日 〃 5 日	風害	県下全域	4 日午後 3 時ごろ、小名浜港で日本郵船の貨物船彦山丸が 28m の突風に押し流されて、坐礁浸水した。また、テレビアンテナ折損、屋根破損、電灯線、電話線に相当な被害を出した。
昭和41年(1966) 3 月 5 日	風害	中通り・ 浜通り地方	5 日朝から西風が強まり、中通り・浜通り地方の各地に被害を出した。 常磐線では 5 時間にわたり列車運行を停止し、また、各地で屋根が吹きとばされ、平地方では 910 戸が停電。
昭和41年(1966) 6 月 26 日 〃 29 日	風水害	県下全域	27 日午後から降りはじめた大雨は、28 日夕刻から 29 日朝まで暴風雨となり、県下各地で被害が発生。特に、いわき地方の被害が大きく県内の総被害額は 36 億 712 万円に達した。 小名浜で 1 時間最大雨量 25.8mm、総雨量 229.1mm であった。

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況
昭和42年(1967) 4月19日 〽 20日	水害	いわき地方	19日降り出した雨は20日にかけて大雨となり、いわき地方では局地的に80～120mmの雨量になった。 このため市内各地で、床上浸水138戸、非住家被害22棟、521名の被害者を出したほか、道路27箇所、橋梁2箇所、河川8箇所、林業施設4箇所、農地農業用施設5箇所、田冠水780haなどの被害を出し、常磐線では線路の路肩が崩れて列車が一時不通になるなど被害額5,133万円に達した。
昭和42年(1967) 7月4日 〽 28日	水害	県下全域	浜通りと中通り南部を中心に大雨と雷があり、いわき市6,000戸が停電し、また、水道断水で5,000戸の給水が停止した。常磐線では土砂崩れのため、列車が一時不通となった。 被害額は6,802万円に達した。
昭和42年(1967) 10月27日 〽 28日	風水害	浜通り地方	27日夕刻から28日朝にかけて、浜通り地方に瞬間風速20mの強風をまじえた大雨があり、1時間雨量で遠野47mm、小名浜33mm、浜通り中・南部では100～200mmの大雨が降った。住家全壊3戸、半壊6戸、床上床下浸水3,700戸、土木・農産などに4億5,495万円に達した。
昭和43年(1968) 8月29日 〽 30日	風水害	中通り・ 浜通り地方	29日午後から30日朝にかけて風雨が強く、海岸には高波が押し寄せた。小名浜港においてタンカー第17副神丸が強風のため沈没した。特にいわき市などは被害の大きい地区であった。 被害額は8,780万円に達した。
昭和44年(1969) 8月23日	風水害	中通り・ 浜通り地方	浜通り地方では23日午後2時から同4時にかけて強い雨が降り、東寄りの風が強く家屋の倒壊・浸水のほか、いわき市常磐上湯長谷町梅ヶ平の住宅街では午後2時20分ごろ、突然竜巻が起こり、住家半壊1棟、一部破損5棟の被害を出し、被害額は6,734万円に達した。
昭和45年(1970) 1月30日 〽 2月1日	暴風雨雪	県下全域	30日朝、県南地方から雨が降りはじめ、夕刻には県下全般に雨となり、夜になって南の風が強まった。 31日昼ごろから急激に気温が下がり雪になるとともに北西の風が変わって県下全域が猛吹雪となった。 小名浜港では波浪になり、空光丸が沈没し、死者13名、行方不明2名、重軽傷者9名を出したのをはじめ、総額8億9,000万円の被害を出した。
昭和45年(1970) 11月19日 〽 20日	水害	浜通り地方	19日昼ごろから降りはじめた雨は21日午前1時ごろまで降り、中通りでは80～100mm、浜通りでは270～280mmの大雨となり、家屋浸水、道路損壊、山崩れの被害を出し、被害総額10億2,269万円に達した。

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況
			いわき市では床上浸水 179 戸、床下浸水 1,524 戸、降雨量は 19・20 日の両日で、平 203mm、小名浜 210mm、三和 175mm、上遠野 211mm、勿来で 231mm になった。
昭和46年(1971) 4月29日 ～ 30日	水害	いわき地方	29 日夜から 30 日未明にかけて、いわき地方を集中的に襲った大雨で矢田川の堤防が決壊して、小名浜地区を中心に大きな被害を出した。 家屋全壊 3 戸・半壊 9 戸、床上浸水 526 戸、床下浸水 2,178 戸となり、床上 1 m も浸水した小名浜大原地区では、避難命令が出された 30 日午前 3 時には電気が消え、玄関に浸水した所もあった。 被害総額は 9 億 7,513 万円に達した。
昭和46年(1971) 8月31日 ～ 9月1日	台風 23 号	中通り・ 浜通り地方	31 日午後 2 時ごろから、雨台風 23 号によっていわき市を中心に浜通りと中通りに大きな被害を出した。 いわき市では、家屋浸水 8,735 戸、道路損壊 70 箇所、橋梁流失 26 箇所、田畑冠水 3,462ha に達し、幹線道路網は各地でズタズタに寸断され、また、水道施設の被害により給水不能となった。
昭和46年(1971) 9月5日 ～ 7日	水害	中通り南部・ 浜通り南部	5 日から断続的に強い雨が降り、ことに県南と浜通り南部では 180mm を越す大雨が降り、いわき市小川町柴原の相ヶ丘部落の 27 世帯 135 人は、道路が寸断され孤立状態になる。 この大雨で農作物関係で 197.1ha 被害額 4,075 万円となり、各被害の総額は 4 億 8,873 万円に達した。
昭和46年(1971) 9月11日 ～ 12日	高潮	浜通り海岸	11 日夜から 12 日未明にかけて、台風 26 号の影響で強い風をとまって高さ 5～10m の高波が押し寄せ、各地で堤防決壊や床下浸水の被害を出した。 小名浜では、藤原川河口の堤防 2 箇所がえぐられ、海岸沿いを走る産業道路が高波に洗われた。中之作勝見ヶ浦では堤防が決壊し、高波が民家の屋根までふりかかり近くの公民館に避難した。 勿来港では小型船 30 隻が高波で岸壁に打ち上げられる被害を出した。 この高潮による被害総額は 3 億 6,607 万円に達した。
昭和46年(1971) 9月26日 ～ 27日	水害	いわき地方	26 日午後から台風 26 号の影響により、県内全般に雨が降り出し、27 日の朝までに総雨量は浜通り南部と県南地方に多く降り、浜通りで 100mm を越す所があった。 このため、いわき市矢田川・新川が氾濫し、小名浜・平市堂ノ前で住家床上浸水 30 戸、床下浸水 351 戸を出した。また、国道 6 号は一時全面ストップ、49 号も好間町地内で土砂崩れのため一方通行となった。 県下の被害額は 6,744 万円に達した。

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況
昭和47年(1972) 1月13日 ～ 16日	高潮	浜通り海岸	13日朝から低気圧の影響で、強い風がともな って高さ5～10mの高波が押し寄せ、防波堤を越 えた高波により床下・床上あわせて14戸、船舶 被害12隻、被害額は7,668万円に達した。
昭和47年(1972) 2月27日	水害	いわき地方	26日夜から低気圧の影響で大雨が降り、特に、 内郷地区が新川の増水により、36戸の床上浸水、 604戸の床下浸水、また、四倉地区では全壊1戸、 半壊2戸被害額は3,695万円に達した。 雨量は小名浜112mmであった。
昭和47年(1972) 8月7日	台風13号	いわき地方	7日夕刻、いわき市沖をかすめて北上した台風 13号により、浜通り地方に大きな被害を出した。 特に、いわき市北部久之浜地区の被害が多く、 床上浸水128戸、床下浸水138戸、船舶3隻、被 害額は農産被害1,926万円、商工被害900万円を 含み1億872万円に達した。
昭和47年(1972) 9月8日 ～ 12日	水害	浜通り海岸	8日から低気圧による集中豪雨があり、新川沿 いの平・内郷地区の被害が多く、床上浸水636 戸、床下浸水36戸、被害額は8,167万円に達し た。
昭和47年(1972) 9月16日 ～ 17日	台風20号	中通り・ 浜通り地方	16日朝から台風20号の影響により、県内全般 に雨が降り、いわき市では山間部の雨量が多く、 農林業及び林道等の被害が多かった。 被害額は4,905万円に達した。
昭和47年(1972) 11月21日	水害	いわき地方	21日昼から低気圧の影響により、いわき地方 に集中豪雨があり、海岸線に被害を与え、床上浸 水61戸、床下浸水309戸の被害があった。
昭和48年(1973) 6月19日	水害	いわき地方	19日低気圧の影響により集中豪雨があり、床 上浸水12戸、床下浸水422戸の被害があった。 被害額は5,060万円であった。
昭和49年(1974) 4月21日	水害	いわき地方	21日低気圧の影響による大雨が降り、特に、 小名浜地区が小名川の増水により、床上・床下合 わせて73戸の被害があった。
昭和49年(1974) 6月25日	雷雨	いわき地方	25日夕方雷雨による集中豪雨があり、小名浜 地区で床下浸水18戸の被害があった。 小名浜の雨量は77mmであった。
昭和49年(1974) 9月16日 ～ 19日	水害	いわき地方	16～19日にかけての長雨により、市内各地で 被害があり、崖崩れ、床下浸水72戸の被害があ った。 小名浜での1日あたり平均雨量は75.7mmであ った。
昭和50年(1975) 7月4日	水害	いわき地方	3日夕刻より降り出した低気圧による豪雨に より、市内各地で被害があり、土砂崩れ6箇所、 道路破損15箇所、床下浸水119戸。 被害額は1億643万円に達した。 雨量は118.5mmであった。

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況
昭和50年(1975) 11月15日	水害	いわき地方	15日低気圧の影響による大雨が降り、市内各地で被害があり、床上浸水10戸、床下浸水162戸、河川の決壊4箇所、土砂崩れ6箇所、道路破損35箇所、田畑の冠水138ha。 被害額は1億398万円に達した。 雨量は100mmであった。
昭和51年(1976) 9月3日 ～ 5日	水害	いわき地方	3～5日にかけて大雨が降り、特に海岸線の雨量が多く、小名浜地区では天神川の増水による被害が大であった。 半壊を含む住家被害が100世帯、内避難が3世帯、道路被害28箇所、河川の氾濫23箇所、崖崩れ20箇所等、被害総額1億1,745万円に達した。 降雨量は194mmであった。
昭和51年(1976) 10月19日	地すべり	いわき市 四倉栗木作	午後1時20分ごろ、栗木作浄水場貯水池南側山合幅40mにわたり決壊、貯水されていた63,000トンの水が決添いに土石・立木とともに流れ出した。このため、周辺の山林・家屋が押し流され、県道小野～四倉線が600mにわたり埋土・冠水、交通止めとなったほか、田畑も埋土・冠水したものである。 被害額及び復旧額は5,847万円であった。 この災害に対処するためいわき市災害対策本部を設置した。
昭和52年(1977) 5月15日	水害	浜通り・ 中通り南部	15日の大雨により、住家全半壊3戸、床下浸水197戸、田畑の冠水378ha、道路損害30箇所、土砂崩れ33箇所。被害額が7,372万円に達した。 雨量152mmであった。
昭和52年(1977) 8月18日	水害	いわき地方	11日から17日まで断続的に降ったが、18日午後1時30分、大雨洪水警報が発令され、水防本部が設置された。河川の増水により、床上・床下浸水の家屋229戸、田畑の冠水24ha、土砂崩れ等36箇所、道路損壊67箇所。 被害額は1億3,050万円に達した。 雨量は86.5mmであった。
昭和52年(1977) 9月9日	水害	いわき地方	9日低気圧による集中豪雨のため、山間部の雨量が多く、特に、川前・三和地区の被害が大であった。 道路59箇所、林道10箇所等含み農林水産業被害が3,742万円。公共土木施設8,964万円。その他合わせて1億3,475万円に達した。 雨量は121mmであった。

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況
昭和52年(1977) 9月19日	台風11号	いわき地方	17日父島付近をゆっくり北上してきた台風11号は、19日午後11時ごろ小名浜沖70kmの東方海上を時速45kmで北北東に向かって通過、この間いわき市に降り始めてから218mmの降雨があり、河川の増水による低地の浸水、山崩れの為住宅の被害が多く、死者2名、負傷者3名の人的被害があった。全市的な被害で住家被害7,330戸、田畑の冠水1,361ha、道路412箇所、橋梁29箇所、河川決壊79箇所、土砂崩れ347箇所等、被害総額は35億4,719万円に達した。
昭和52年(1977) 11月28日	高潮	いわき海岸	27日から28日にかけて、強風波浪注意報が発令。 28日午後3時30分ごろ、防波堤に低気圧に伴う高潮があり、久之浜を中心に住家被害が18戸あった。
昭和53年(1978) 3月10日	突風雨	いわき地方	10日午後1時55分大雨、洪水注意報発令。同日午後8～9時にかけて、突風雨が吹き平草野地区においては屋根が飛ばされたトタン等が家屋にあたり40戸が被害にあった。 降雨量 46mm 風位 南南東の風 瞬間風速 22.2m であった。
昭和53年(1978) 4月6日	水害	いわき地方	日本海・太平洋複合低気圧による集中豪雨のため、特に、小名浜地区の河川の増水が目立ち、床上浸水8戸、床下浸水365戸、道路被害は32箇所等、被害額は1,311万円に達した。 雨量63.5mmであった。
昭和54年(1979) 5月8日	水害	いわき地方	8日朝から降り出した雨は、9日過ぎには小名浜で140.5mmとなり、海岸線沿いに大きな被害をもたらした。 特に、小名浜では蔵持川と矢田川合流点が決壊又は、小名川の増水による家屋被害が目立った。 一部破損1戸、床上浸水2戸、床下浸水202戸、田畑の冠水78ha、道路被害114箇所、河川被害47箇所、崖崩れ11箇所等の被害があり、被害総額は1億8,690万円に達した。
昭和54年(1979) 5月15日	水害	いわき地方	14日夜から15日朝にかけて、浜通りを中心に県内に激しい集中豪雨が降り、市内全域に被害をもたらした。 道路は各地で寸断、好間町大利と合戸間の49号が交通止めとなったのをはじめ、小川・三和・田人など道路が閉ざされた孤立状態となった。 河川でも小名浜蔵持川が10mにわたり決壊、大久川で60m、内郷高野川が10mにわたりそれぞれ決壊、勿来地区の蛭田川昭和橋が流失したのをはじめ、小名浜小山橋、四倉柳生橋脚が流失などの被害が出た。

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況
			住居被害は半壊 1 戸、一部破損 3 戸、床上浸水 134 戸、床下浸水 1,261 戸があり、田畑の冠水は 2,978ha、文教施設 23 箇所、道路被害 264 箇所、橋梁 20 箇所、河川 237 箇所、崖崩れ 40 箇所等の被害があった。 被害額は 12 億 7,544 万円に達した。 雨量は 185mm であった。
昭和54年(1979) 10月19日	台風 20 号	中通り・ 浜通り地方	19 日午前 9 時 40 分、和歌山県白浜に上陸した台風 20 号は 70km の高速で、東海・関東地方経て夜には浜通り地方に接近、豪雨と強風により各地に被害が続出した。 特に、平・内郷・常磐地区に床上・床下浸水が集中降雨量 223mm を記録した。平の堂ノ前・尼子・梅本、内郷小島地区などは軒並み冠水、乗用車は全面ストップになった。 常磐では藤原川の決壊などで、市営住宅・県営住宅 500 世帯に避難勧告が出された。 住家被害は半壊 7 戸、一部破損 95 戸、床上浸水 857 戸、床下浸水 1,668 戸、田畑の冠水は 2,800ha、道路被害 335 箇所、河川 220 箇所等であり、被害額は 22 億 6,520 万円に達した。
昭和56年(1981) 8月23日	台風 15 号	中通り・ 浜通り地方	23 日午前房総半島に上陸した台風 15 号は時速 45km で大型、並のまま水戸から白河を経て中通りを北上、午前 10 時過ぎ福島県を去った。 浜通り地方では 23 日午前 7 時 55 分瞬間最大風速 31m を記録、雨量は、三和、川前で 295mm、小名浜で 60mm と山間部の雨量が多く河川は警戒水位を突破した。 また、23 日の満潮時（午前 10 時 3 分）と重なったため、海は大しけとなり港湾施設の被害をもたらした。住家被害は一部破損 4 戸、床上浸水 2 戸、床下浸水 29 戸、田畑の冠水 280ha、道路被害 127 箇所、河川 54 箇所、漁港、港湾施設 18 箇所等であり、被害額は 22 億 7,974 万円に達した。
昭和56年(1981) 10月22日	台風 24 号	中通り・ 浜通り地方	大型台風 24 号は、伊豆諸島から東海、関東地方南部を暴風雨圏に巻き込み、23 日午前 1 時過ぎ房総半島をかすめて鹿島灘に抜けた。 浜通り地方では、22 日午前 10 時ごろから降雨に見舞われ、同 45 分風雨注意報、海上に波浪注意報が発令された。午後 4 時 45 分には大雨洪水強風注意報に、同 11 時暴風雨洪水警報に切り替えられ、23 日午前 1 時には暴風雨圏内に入り、瞬間最大風速 29.9m、降雨量は 208mm を記録した。 特に海岸線の勿来、小名浜、平、四倉地区の被害が多かった。

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況
			住家被害半壊 1 戸、一部破損 7 戸、床上浸水 206 戸、床下浸水 1,070 戸、田畑の冠水 297ha、文教施設 35 箇所、道路 198 箇所、河川 115 箇所等であり被害額は 6 億 3,359 万円に達した。 この災害によりいわき市災害対策本部が設置された。
昭和 57 年(1982) 4 月 14 日 ～ 16 日	水害	いわき地方	14 日夕方から断続的に降り続いた雨は 15 日朝から急に雨足を強め、16 日午前 1 時過ぎには小名浜で 102.5mm を記録し、市内の全域に被害をもたらした。 また、被害総額は 16 億 1,867 万円に達した。
昭和 57 年(1982) 8 月 2 日	台風 10 号	県下全域	中部日本を通過した台風 10 号は県内に大きな被害をもたらした。 市内では 1 日夜から 2 日朝にかけ瞬間最大風速 21.6m を記録し、特に果樹等の農作物の被害が最も多かった。 また、被害総額は 2 億 4,882 万円に達した。
昭和 57 年(1982) 8 月 28 日	水害	いわき地方	27 日夜から 28 日朝にかけ、南から湿った大気の影響で山間部に局地的に大雨が降り、特に三和地区 130mm、川前地区 203mm、遠野地区 128mm の豪雨となった。このため川前町の県道小野・富岡線、同上川内・川前線などの道路で路肩が崩れたり、三和町の小玉川などの河川の堤防損壊等の被害をもたらした。 また、被害総額は 2 億 5,963 万円に達した。
昭和 57 年(1982) 9 月 12 日	台風 18 号	中通り・ 浜通り地方	12 日夕方、静岡県御前崎付近に上陸し、北日本を縦断した大型台風 18 号は、13 日午前 8 時には青森県下北半島下矢崎で温帯低気圧に変わった。雨量は山間部が多く、被害も田人地区・三和地区に集中し、勿来町酒井出蔵地内の大日本炭砒旧ズリ山が崩れ、ヘドロが流出し付近の住民 13 世帯 15 人が高畔集会所などへ避難した。また、道路関係では三和町中寺地内で国道 49 号が好間川の増水により路面洗掘、田人町旅人地内の国道 289 号が四時川の増水の影響で一時ストップした。また錦町地内を流れる鮫川の江栗橋が流失する等の被害をもたらした。 また、被害総額は 3 億 3,388 万円に達した。
昭和 57 年(1982) 10 月 20 日	水害	いわき地方	19 日夕方から 20 日朝方にかけ、発達した低気圧の接近に伴い、市内は大雨と強風に見舞われた。特に田人地区では 238mm、川前地区では 213mm という台風並みの雨量を記録した。 また、被害総額は 2 億 8,611 万円に達した。

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況
昭和60年(1985) 7月1日	台風6号	いわき地方	台風6号の通過により、6月30日夜から7月1日朝にかけ、市内は大雨に見舞われ、82mmの雨量を記録した。 このため住家被害全壊1戸、田畑の冠水190ha、道路74箇所、河川41箇所等であり、被害額は4億6,456万円に達した。
昭和61年(1986) 8月5日	水害	いわき地方	台風10号くずれの温帯低気圧により8月4日未明から5日午前にかけて市内は大雨に見舞われ、田人地区で448mm、市内平均313.7mmの雨量を記録した。 これにより、いわき市は市制施行以来はじめての災害救助法の適用を受け、平地区を中心に避難所28箇所を設置し延べ1,889人が避難した。 住家被害は、全壊1戸、半壊2戸、一部破損4戸、床上浸水771世帯、床下浸水1,527世帯、田畑冠水1,069ha、道路1,616箇所、河川313箇所等であり、被害額は46億7,998万円に達した。 いわき市では、いわき市災害対策本部を設置して対応した。
昭和61年(1986) 10月11日	水害	いわき地方	発達した低気圧の接近により、10月11日朝から市内は、大雨に見舞われ、内郷、四倉地区を中心に被害を受けた。 このため、住家被害は床上浸水21世帯、床下浸水161世帯、田畑冠水22ha、道路86箇所、河川36箇所であり、被害額は2億円に達した。
昭和62年(1987) 9月9日	水害	いわき地方	9日夕方から同日夜半にかけて、市内は雷を伴う強い雨に見舞われた。 このため、四倉・久之浜地区を中心に、床上浸水9世帯、床下浸水198世帯等の被害を受け、被害額は7,600万円に達した。
昭和63年(1988) 8月29日 ～ 30日	水害	浜通り地方	台風15号の影響により、29日夜半から30日にかけて市内は強い雨に見舞われ、各地区で100mmから170mmの雨量を記録した。 このため、市内全域で床上浸水16世帯、床下浸水302世帯、田畑の流失・冠水93ha、道路110箇所、河川82箇所等の被害を受け、被害額は8億2,083万円に達した。
昭和63年(1988) 8月末 ～ 10月初め	地すべり	いわき市 好間町大利	7月から続いた長雨の影響により、8月30日に大利字成沢地区で約50haの地すべりが発生した、住家1棟が全壊した。 また、9月30日には大利字井田木地区で土砂が国道に押し出され、10月3日には大利字大利前地区で大規模な地すべりが発生した。

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況
平成元年(1989) 8月6日 ～ 7日	台風13号	県内全域	台風13号の影響により、6日から7日にかけて市内は強い雨に見舞われ、最高174mm、平均169mmの雨量を記録し、3年ぶりに災害救助法の適用を受けることとなった。 この豪雨により市内小川地区においては2級河川夏井川の堤防が決壊し、多くの住民が痛手を受けた。また市内遠野地区においては濁流に吞まれ1名が死亡した。 この豪雨によるいわき市の被害は、死者1名、負傷者2名、全壊家屋1棟、半壊家屋17棟、一部破損家屋7棟、床上浸水565棟、床下浸水631棟、被災世帯1,219世帯、農作物被害1,217.28ha、農地被害564箇所、林業被害303箇所、商工業被害104箇所、道路348箇所、河川439箇所、橋梁8箇所等におよび、被害総額は43億6,640万円に達し、いわき市ではいわき市災害対策本部を設置して対応した。
平成元年(1989) 8月27日	台風17号	県内全域	台風17号の影響により、いわき市は27日朝から強い雨に見舞われた。 このため市内では、半壊家屋1棟、床上浸水10棟、床下浸水92棟、被害世帯111世帯、農林業被害326箇所、土木被害128箇所等の被害を受け、被害総額は8億7,625万円に達した。
平成2年(1990) 8月10日	台風11号	市内全域	10日朝から市内は台風11号により、同日夜半までに最高212mm、平均115mmの雨量を記録した。 このため市内では、床下浸水2世帯、道路被害55箇所、河川被害70箇所、農林業施設被害175箇所等の被害を受け、被害総額4億7,267万円に達した。
平成2年(1990) 8月26日	水害	常磐・内郷地区	26日午後から雷を伴う集中豪雨となり、特に常磐・内郷地区に被害が生じた。 家屋半壊3棟、一部損壊5棟、床下浸水34世帯、床下浸水189世帯、停電5,600世帯、道路被害15箇所等、あわせて被害額は1,000万円に達した。
平成2年(1990) 11月30日	台風28号	市内全域	30日夕方から強い雨が降り出し、川前で151mmを記録するなど、各地区で100mmを超える激しい雨となった。 このため各地区で被害が発生し、床下浸水7世帯、道路被害11箇所、橋梁被害2箇所、河川被害12箇所、農林施設被害248箇所へのぼり、被害総額2億4,414万円に達した。
平成3年(1991) 8月3日	雷雨	市内全域	3日午後7時ごろ、平で70mmの時間雨量を記録するなど各地で大雨となり、床下浸水55世帯、道路被害7箇所、農林施設被害40箇所等の被害と停電3,772世帯となった。被害総額は4,500万円に達した。

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況
平成 3 年(1991) 8 月 7 日	雷雨	市内全域	7 日未明から雷を伴い大雨が降り、各地で崖崩れ等の被害が発生した。 家屋の一部破損 1 棟、道路被害 7 箇所、河川被害 25 箇所、崖崩れ 2 箇所等の被害となり、被害総額は 2 億 7,500 万円に達した。
平成 3 年(1991) 9 月 18 日 ～ 19 日	台風 18 号	市内全域	18 日から 19 日にかけて小型で強い台風 18 号の影響により、各地で被害が発生した。 この台風により、家屋半壊 2 棟、一部損壊 1 棟、床上浸水 3 世帯、床下浸水 114 世帯、水田埋没 13.4ha、道路被害 44 箇所、河川被害 68 箇所、崖崩れ 16 箇所等の被害となり、被害総額は 9 億 6,114 万円に達した。
平成 3 年(1991) 10 月 10 日 ～ 13 日	台風 21 号	市内全域	10 日から 13 日にかけて大型で並の台風 21 号が本市を襲い、各地で被害が発生した。 この台風により、家屋半壊 1 棟、一部破損 3 棟、道路被害 16 箇所、河川被害 21 箇所、崖崩れ 17 箇所等の被害となり、被害総額は 5 億 3,356 万円に達した。
平成 4 年(1992) 1 月 31 日 ～ 2 月 1 日	大雪	浜通り地方	発達した低気圧と冬型の気圧配置により、大雪に見舞われ、各地で農業被害が生じた。 パイプハウスの全壊 37 棟等、1,650 万円を超える被害となった。
平成 4 年(1992) 9 月 11 日	台風 17 号	沿岸海域	11 日未明から台風 17 号の影響により、福島県沿岸海域では大シケとなった。床下浸水 3 世帯の被害が生じた。
平成 4 年(1992) 10 月 9 日	大雨	四倉地区	9 日未明から降り出した集中豪雨により、四倉地区で床下浸水 48 世帯の被害が生じた。
平成 5 年(1993) 11 月 14 日	水害	市内全域	13 日夜半から 14 日にかけて、発達した低気圧の通過の影響により、市内全域は大雨に見舞われ、田人地区で 329mm、市街地においても 200mm を越える雨量を記録し、災害救助法の適用を受ける災害となった。 この豪雨によるいわき市の被害は、重軽傷者 7 名、全壊家屋 5 棟、半壊家屋 7 棟、一部破損家屋 29 棟、床上浸水 842 棟、床下浸水 1,319 棟、被災世帯 2,234 世帯、農作物被害 49.0ha、農地被害 666 箇所、林業被害 363 箇所、商工業被害 210 箇所、道路被害 302 箇所、河川被害 206 箇所、橋梁被害 8 箇所等に及び、被害総額は 39 億 6,685 万円に達した。 いわき市ではいわき市災害対策本部を設置して、これに対応した。

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況
平成 9 年(1997) 5 月 24 日 ～ 25 日	大雨	市内全域	発達中の低気圧の影響により、市内は 5 月 24 日から 25 日にかけて大雨に見舞われ、田人の 202mm を最高に、各地区でも 100mm を越える雨量を記録した。 また、常磐では、25 日正午ごろ、この大雨による地盤の軟化により土砂流出が発生し、配水池が滑落する被害が生じた。 このため、2 次災害の恐れのある付近住民 72 世帯 212 人に避難勧告が発令された。 いわき市では「いわき市桜ヶ丘地内常磐配水池災害対策本部」を設置し、応急復旧、避難者への対応などの防災活動を実施した。 この大雨によるいわき市の被害は、一部破損家屋 3 棟、床上浸水 5 棟、床下浸水 20 棟、被災世帯 27 世帯、被害総額は 6 億 2,330 万円に達した。
平成 10 年(1998) 10 月 7 日	水害	市内全域	7 日午前 7 時頃から降り始めた雨は、午後に入ると雨足を強め、勿来地区や小川地区においては、1 時間雨量 50mm を越える集中豪雨となった。 市内では、常磐地区及び内郷地区を中心に住家被害が発生し、床上浸水 158 棟、床下浸水 268 棟、被災世帯 425 世帯の被害を受けた。 その他、農地被害 64 箇所、林業被害 21 箇所、道路被害 87 箇所、河川被害 24 箇所に及び、被害総額 1 億 9,950 万円に達した。
平成 11 年(1999) 7 月 13 日 ～ 15 日	大雨	市内全域	日本の南海上の熱帯低気圧の影響により、県内は 7 月 13 日より中通り及び浜通りを中心に大雨となり、本市にも翌 14 日 5 時 10 分に大雨・洪水警報が発令され、各地区で床上・床下浸水等の被害が発生した。また、私立久之浜幼稚園体育室に裏山の土砂が流出するなど、崖崩れ等の土木被害も多発した。 この大雨によるいわき市の被害は、床上浸水 21 棟、床下浸水 217 棟、被災世帯 249 世帯、被害総額は 11 億 2,147 万円に達した。
平成 12 年(2000) 7 月 7 日 ～ 8 日	台風 3 号	市内全域	台風 3 号の影響により、市内は 7 日夜半から 8 日午前中にかけて強い雨に見舞われ、最高 221mm、平均 160mm の雨量を記録した。 この台風によるいわき市の被害は、床上浸水 1 棟、床下浸水 7 棟、水田冠水 37.5ha、河川被害 84 箇所、崖崩れ 5 箇所、農林業施設被害 286 箇所、被害総額は 5 億 9,805 万円に達した。

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況
平成 13 年(2001) 9 月 11 日	台風 15 号	市内全域	台風 15 号の影響により、三和地区では 9 月 9 日午後から 11 日夜まで、他の地区においては 11 日朝から 11 日夜までにかけて、断続的に強い雨が降り、11 日 4 時 50 分に大雨・洪水警報が発令され、各地区に被害が発生した。 この台風によるいわき市の被害は、物置冠水 1 棟、土木施設被害 37 箇所、崖崩れ 1 箇所、農林業施設被害 25 箇所等であり、被害総額は 7,923 万円に達した。
平成 14 年(2002) 7 月 10 日	台風 6 号	市内全域	台風 6 号の影響により、市内は 7 月 9 日夕方から 7 月 11 日早朝にかけて断続的に強い雨が降り、7 月 10 日、13 時 10 分に大雨・洪水警報が、さらに同日 22 時 55 分に暴風警報が発令され、各地区に被害が発生した。 この台風によるいわき市の被害は、非住家の一部破損 1 棟、道路被害 58 箇所、橋りょう被害 1 箇所、河川被害 29 箇所、崖崩れ 2 箇所、農林業施設被害 73 箇所、林道被害 87 箇所等であり、被害総額は 3 億 4,459 万円に達した。
平成 14 年(2002) 10 月 1 日	台風 21 号	市内全域	台風 21 号の影響により、市内は 10 月 1 日早朝から風が強まり、10 月 1 日、17 時 10 分に大雨・洪水・暴風・津波警報が発令され、同日 22 時 10 分には最大風速 48.1m/sec を観測し、各地区に暴風による被害が発生した。 勿来町関田須賀地区の関田海岸において、防波堤の一部が空洞化し、高波等により、周辺住民宅への被害が懸念されることから、周辺住民 44 世帯、94 名に対し、避難勧告を発令し、32 世帯 72 名が避難した。また、勿来町関田障子川地内の 1 世帯 4 名が自主避難した。 この台風によるいわき市の被害は、市内全地区で最大 105,220 戸が停電になったのをはじめ、負傷者 1 名、暴風による住家の一部損壊 114 棟、非住家被害 439 世帯、農作物被害 59.52ha、道路被害 111 箇所、河川被害 4 箇所、崖崩れ等 14 箇所、農業土木被害 11 箇所、農業関係施設被害 45 箇所、林道被害 6 箇所、水産港湾被害 38 件、文教施設被害 110 箇所、市営住宅被害 223 箇所、商工関係被害 437 件等であり、被害総額は 2 億 2,686 万円に達した。

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況
平成15年(2003) 3月7日	低気圧	平・内郷	発達した低気圧の影響により、市内は3月6日夜から風雨が強まり、3月7日、13時25分に強風注意報、13時25分に波浪警報、大雨・強風・洪水注意報が発令され、平及び内郷地区で、被害が発生した。 3月7日、内郷内町金坂地内で土砂崩れが発生したため、内郷支所内に災害対策地区本部を設置し、被害の情報収集及び応急対策等にあたるとともに、二次被害の発生が懸念されることから、周辺住民2世帯、5名に対し、避難勧告を発令した。
平成16年(2004) 10月8日 ┆ 10月10日	台風22号 及び秋雨前線	市内全域	発達した秋雨前線の影響により、市内は10月8日夜から9日朝にかけて強い雨が降り、10月9日7時35分到大雨・洪水警報、同日11時53分に暴風・波浪警報が発表され、さらに、台風22号の影響により10月9日夕方から夜半まで強い雨が降り、各地区に被害が発生した。 この台風および前線によるいわき市の被害は、道路被害30箇所、河川被害28箇所、崖崩れ等2箇所、農林業施設被害56箇所、林道被害24箇所等であり、被害総額は2億92万円に達した。
平成16年(2004) 10月19日 ┆ 10月21日	台風23号 及び秋雨前線	市内全域	発達した秋雨前線及び台風23号の影響により、市内は10月19日夜遅くから21日の明け方にかけて断続的に強い雨が降り、10月20日16時50分到大雨・洪水・暴風・波浪警報が発表され、各地区に被害が発生した。 この台風および前線によるいわき市の被害は、道路被害11箇所、河川被害3箇所、崖崩れ等2箇所、農林業施設被害7箇所、林道被害10箇所等であり、被害総額は7,110万円に達した。
平成17年(2005) 8月25日 ┆ 8月26日	台風11号	市内全域	台風11号の影響により、市内は8月25日午後から26日日中にかけて断続的に強い雨が降り、8月25日18時30分に暴風・波浪警報、同日21時27分到大雨・洪水警報が発表され、各地区に被害が発生した。 この台風によるいわき市の被害は、道路被害20箇所、河川被害5箇所、崖崩れ等1箇所、農林業施設被害60箇所、林道被害31箇所等であり、被害総額は7,515万円に達した。
平成17年(2005) 12月22日	風害	市内全域	発達した低気圧の影響により、12月22日5時46分に暴風警報が発表され、小名浜では最大瞬間風速29.7m/sとなり、この暴風により、屋根の破損や物置の倒壊などの物的被害が8件と、転倒による頭部打撲などの軽症4件の被害が発生した。

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況
平成 18 年(2006) 6 月 15 日～16 日	梅雨前線豪雨	市内全域	発達した梅雨前線の影響により、市内では 6 月 15 日夕方から 16 日夜にかけて断続的に強い雨が降り、降り始めからの総雨量は久之浜・大久地区の 195 ミリを最大に、各地区でも 100 ミリを越し、床上・床下浸水等の被害が発生した。 ○主な公共施設被害 河川 32 箇所、道路 76 箇所、公園 5 箇所、林道 36 箇所 ○一般住宅・非住宅被害 床上浸水 8 棟、床下浸水 90 棟、一部破損 3 棟 ○被害総額 303,733 千円
平成 18 年(2006) 8 月 18 日	地すべり	常磐上湯長谷町越巻地内	常磐上湯長谷町越巻地内で約 2ha の地すべりが発生。常磐支所において、常磐上湯長谷町越巻地内地すべり対策本部(災害対策地区本部)を設置。3 世帯 12 名に対し、避難指示(他に自主避難 4 世帯 9 名)を出すとともに、監視体制を強化する等対応を行った。
平成 18 年(2006) 9 月 5 日～6 日	台風 12 号	市内沿岸部	大型で強い台風 12 号の太平洋沖北上により、9 月 5 日午前 9 時 00 分に波浪警報・強風注意報が発表された。 市内沿岸部では 9 月 5 日から 6 日にかけて高波が発生し、各地区で河川の水位が上昇し、周辺道路の冠水及び床下浸水等の被害が発生した。 ○主な公共施設被害 道路 1 箇所、水道施設 1 箇所 ○一般住宅・非住宅被害 床上浸水 1 棟、床下浸水 3 棟
平成 18 年(2006) 10 月 5 日～7 日	低気圧	市内全域	太平洋沖に発達した非常に強い低気圧の影響により、10 月 5 日夕方から 7 日午前まで雨が降り続き、6 日午前 5 時 46 分到大雨・洪水警報、同日午前 11 時 06 分には暴風・波浪警報が発表された。 降り始めからの総雨量は四倉地区の 303 ミリを最大に、各地区でも 130 ミリを越し、また、各地で倒木などの暴風被害が多数発生した。 ＊小名浜下神白綱取地区では、法面崩落により、小名浜地区水防部において 2 世帯 7 名に対し避難勧告を発令。地区水防部解散後は、小名浜下神白綱取地区法面崩落対策本部(災害対策地区本部)を設置し、警戒体制を強化する等対応を行った。 ○主な公共施設被害 河川 14 箇所、道路 9 箇所、公園 3 箇所、林道 14 箇所 等 ○一般住宅・非住宅被害 床上浸水 1 棟、半壊 1 棟、一部破損 7 棟、 ○被害総額 437,434 千円

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況
平成18年(2006) 12月26日 ～27日	低気圧	市内全域	発達した低気圧の通過により、12月26日午後6時35分に暴風・波浪警報、同日午後10時04分には大雨・洪水警報が発表された。 小名浜では最大瞬間風速26.5m/sとなり、この暴風により、小学校などの教育施設で屋根の損壊や倒木による被害が発生した。 また、小川江筋の水路崩壊により、隣接する小学校が浸水被害を受けた。 ○主な公共施設被害（教育等施設） 平第四小学校(体育館屋根破損) 平第六小学校(床上浸水) 入遠野小学校(窓ガラス破損) 永井中学校(敷地内法面崩落) 久之浜第二小学校(倒木) ○その他の被害 磐城小川江筋(水路崩壊) ○一般住宅・非住宅被害 床下浸水2棟、一部損壊1棟 ○被害総額 24,377千円
平成19年(2007) 1月7日	風害	福島県 市内全域	発達した低気圧の影響により、1月7日午前5時31分に暴風・波浪警報が発表された。 この暴風により、屋根の破損、車のフロントガラス破損等物的被害が6件発生した。
平成19年(2007) 7月15日 ～16日	台風第4号	福島県 市内全域	大型で非常に強い台風4号により、15日午前6時11分には大雨洪水警報が、同日午前11時45分には暴風波浪警報が発表された。 15日午前6時11分にいわき市水防本部を設置。市内全地区に各地区水防部を設置した。 市内各地で15日昼頃まで強い雨が降り、降り始めからの総雨量は勿来地区の203.5ミリを最大に、各地区でも150ミリを超し、道路冠水や床上・床下浸水等の被害が発生した。 ○主な公共施設被害 (1) 河川 25箇所 (2) 道路 79箇所 (3) 公園 13箇所 (4) 林道 18箇所 ○一般住宅・非住宅被害 (1) 床上浸水 住家 1棟 (2) 床下浸水 住家 15棟、非住家 6棟 (3) 一部破損 住家 4棟 ○被害総額 327,615千円

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況
平成 19 年(2007) 8 月 22 日	雷雨豪雨	市南部地区	非常に発達した低気圧の影響により、22 日夕方から夜半にかけて、小名浜以南を中心に雷を伴う豪雨が発生。降雨時間は数時間と短かったものの、小名浜での午後 4 時～午後 5 時までの 1 時間当たりの降雨量 69.5mm/h は、小名浜測候所開設以来最高であった。 また、小名浜、勿来地区を中心に夕方から夜にかけて延べ 3,502 戸で停電となった。 22 日午後 4 時 40 分に小名浜地区水防部を設置、同日午後 4 時 53 分に水防本部及び勿来地区水防部を設置した。 ○主な公共施設被害 (1) 道路 1 箇所 (2) 公園 1 箇所 ○一般住宅・非住宅被害 (1) 床上浸水 住家 2 棟、非住家 11 棟、 店舗兼住家 6 棟 (2) 床下浸水 住家 19 棟、非住家 2 棟、 店舗兼住家 1 棟 (3) 一部破損 住家 2 棟 ○被害総額 3,200 千円
平成 19 年(2007) 9 月 6 日 ～7 日	台風第 9 号	福島県 市内全域	強い台風第 9 号の影響により、6 日朝から 7 日昼頃まで雨が降り続き、6 日午前 11 時 22 分に波浪警報、同日午後 6 時 15 分到大雨洪水警報、暴風警報が発表された。 6 日午後 6 時 00 分に内郷・好間・三和地区水防部、同日午後 6 時 15 分に水防本部を設置したのははじめ、市内全地区に各水防部を設置した。 三和、田人地区を中心局所的な豪雨が降り三和地区を中心に道路冠水や床上・床下浸水等の被害が発生した。特に三和地区の被害が甚大であり、その被害箇所の把握や応急対応を迅速に行う必要があることから、三和支所内に「台風 9 号災害に係る被災箇所重点調査体制」を整備し、所要の応急対策を行った。 ○主な公共施設被害 (1) 河川 89 箇所 (2) 道路 172 箇所 (3) 農業土木 156 箇所 (4) 林道 55 箇所 (5) 公園 9 箇所 ○一般住宅・非住宅被害 (1) 床上浸水 住家 3 棟、非住家 2 棟 (2) 床下浸水 住家 42 棟 (3) 全壊 非住家 1 棟 (4) 一部損壊 非住家 1 棟 ○被害総額 774,041 千円

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況
平成 20 年(2008) 2 月 23 日 ～24 日	暴風	市内全域	急速に発達中の低気圧が東北北部を通過することにより、強い冬型の気圧配置となり、23 日午後 4 時 21 分に浜通り全域に暴風警報が発表された。 小名浜では瞬間最大風速が 26.4m/s となり、非住家被害（ガラス窓破損 3 件）や停電、倒木等による道路通行支障 15 件、転倒による頭部打撲などの人的被害（軽症 2 名）が発生した。
平成 20 年(2008) 4 月 18 日 ～19 日	低気圧	市内全域	発達した低気圧の影響により、市内では 17 日夜から雨が降り始め、18 日午後 2 時 40 分到大雨洪水警報、雷注意報が、午後 6 時 40 分には暴風波浪警報が発表された。 市内各地で 19 日午前までに、降り始めからの総雨量は久之浜・大久地区の 168.0 ミリを最大に、各地で 100 ミリを超し、道路冠水や床上・床下浸水等の被害が発生した。 ○主な公共施設被害 (5) 道路 10 箇所 (6) 河川 10 箇所 (7) 林道 12 箇所 (8) 農業土木 8 箇所 (9) がけ崩れ 7 箇所 (10) 観光施設 1 箇所 ○住家・非住家被害 (4) 床下浸水 非住家 1 棟 (5) 一部破損 非住家 1 棟 ○被害総額 26,360 千円
平成 20 年(2008) 5 月 20 日	低気圧	市内全域	発達した低気圧の影響により、20 日午前 5 時 45 分到大雨、洪水、暴風、波浪警報が発表され、市内各地で雷を伴う豪雨が発生した。降雨時間は数時間と短かったものの、午前 9 時から 10 時の間に常磐地区で最大時間雨量 31 ミリ、平地区で 29 ミリを記録し、道路の冠水や床上・床下浸水等の被害が発生した。 ○主な公共施設被害 (1) 道路 5 箇所 (2) 河川 4 箇所 (3) 林道 5 箇所 (4) 農業土木 7 箇所 (5) 下水道施設 3 箇所 (6) がけ崩れ 4 箇所 (7) 商工施設 4 箇所 ○住家・非住家被害 (1) 床上浸水 住家 2 棟、非住家 5 棟 (2) 床下浸水 住家 31 棟、非住家 1 棟 ○被害総額 50,020 千円

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況
平成 20 年(2008) 8 月 28 日 ～29 日	平成 20 年 8月末豪雨	市内全域	本州付近に停滞した前線に向かって南から非常に湿った空気の流れ込みが強まり、局地的な短時間の非常に激しい雨が降った。28 日午後 10 時 55 分に大雨・洪水警報が発表され、降り始めからの総雨量は三和地区の 249.0 ミリを最大に、川前では最大1時間雨量 63.0 ミリを記録し、川前、遠野で床上・床下浸水、木橋流出のほか、三和、田人でも土砂崩れや路面洗掘などの被害が多発した。 ○主な公共施設被害 (1) 道路 97 箇所 (2) 河川 39 箇所 (3) 林道 126 箇所 (4) 農業土木 118 箇所 (5) 農業関係施設 2 箇所 (6) がけ崩れ 12 箇所 など ○住家・非住家被害 (1) 床上浸水 住家 1 棟、非住家 1 棟 (2) 床下浸水 住家 2 棟、非住家 1 棟 ○被害総額 258,904 千円
平成 21 年(2009) 8 月 7 日	大雨・洪水	市内全域	日本南海上の台風 9 号が北上する影響により、県内には湿った空気が流れ込む一方で東北地方の上空に寒気を伴った気圧の谷が通過することにより大気の状態が不安定となった。7日午後 3 時 49 分に大雨・洪水警報が発表され局地的な短時間の非常に激しい雨が降った。降り始めからの総雨量は小川地区の 74.0 ミリを最大に、同地区では最大1時間雨量 60.0 ミリを記録し、四倉では 23 棟の床下浸水の被害が発生した。 ○住家・非住家等被害 (1)床下浸水 住家 23 棟、非住家 4 棟 (2)車両浸水 1 台
平成 21 年(2009) 8 月 9 日 ～10 日	大雨・洪水	市内全域	日本南海上の台風 9 号が北上する影響により、県内には湿った空気が流れ込む一方で東北地方の上空に寒気を伴った気圧の谷が通過することにより大気の状態が不安定となった。9 日午後 11 時 9 分に大雨・洪水警報が発表され局地的な短時間の非常に激しい雨が降った。降り始めからの総雨量は勿来地区の 85.0 ミリを最大に、同地区では最大 1 時間雨量 47.0 ミリを記録し、また床上床下浸水の被害が発生した。 ○住家・非住家等被害 (1)床上浸水 住家 1 棟 (2)床下浸水 住家 3 棟

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況
平成 21 年(2009) 8 月 10 日	大雨・洪水	市内全域	日本南海上の台風 9 号が北上する影響により、県内には湿った空気が流れ込む一方で東北地方の上空に寒気を伴った気圧の谷が通過することにより大気の状態が不安定となった。10 日午前 6 時 25 分に大雨警報、同日午前 8 時 1 分には洪水警報が発表され、降り始めからの総雨量は勿来で 215.0 ミリを最大に、田人地区では時間最大雨量 55 ミリを記録し、市内各地で床下浸水、道路冠水や崖崩れなどの被害が多発した。また、床下浸水により 1 世帯が自主避難した。 ○主な公共施設被害 (1) 道路 56 箇所 (2) 河川 8 箇所 (3) 治山 1 箇所 (4) 農業土木 58 箇所 (5) 林道 28 箇所 (6) 公園・緑地 3 箇所 (7) 商工観光施設 2 箇所 (8) がけ崩れ 36 箇所 など ○住家・非住家等被害 (1)床下浸水 住家 15 棟、非住家 1 棟 (2)一部損壊 住家 1 棟、非住家 1 棟 (3)避難 1 世帯 3 名 ○被害総額 108,635 千円
平成 21 年(2009) 10 月 7 日 ～8 日	台風 18 号	市内全域	強い台風第 18 号の影響により、8 日明け方から同日昼頃まで雨が降り続き、7 日午後 9 時 35 分に暴風・波浪警報、8 日午前 4 時 57 分に大雨・洪水警報が発表され、降り始めからの総雨量は田人、久之浜で 172.0 ミリを最大に、勿来地区では時間最大雨量 48 ミリを記録し、JR 常磐線仙台～取手間及び磐越東線いわき～小野新町間の上下線が運休となった。また、家屋のブロック塀倒壊により 1 名が自主避難した。 ○主な公共施設被害 (1) 道路 7 箇所 (2) 河川 5 箇所 (3) 農業土木 31 箇所 (4) 林道 3 箇所 ○住家・非住家等被害 (1)床下浸水 住家 2 棟 (2)その他 ブロック塀倒壊1箇所 (3)避難 1 名 ○被害総額 21,120 千円

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況
平成 22 年(2010) 4 月 28 日	大雨	市内全域	小名浜で総雨量 191.0 mm を記録し、この影響で、小名浜上神白地内でがけ崩れによる家屋の倒壊が発生し、最大 8 世帯 22 名が自主避難した。 ○主な公共施設被害 (1)道路 4 箇所 (2)河川・排水路等 7 箇所 (3)文教施設(中学校) 1 箇所 (4)農業土木施設 13 箇所 (5)林道施設 3 箇所 (5)治山施設 1 箇所 ○住家・非住家等被害 (1)床下浸水 住家 3 棟 (2)がけ崩れ 全壊 住家 1 棟 非住家 2 棟 一部損壊 住家 1 棟 ○避難状況等 自主避難 1 世帯 3 名(最大時 8 世帯 22 名) ○その他被害 (1) がけ崩れ 9 箇所 ○被害額 324,400 千円
平成 22 年(2010) 5 月 24 日	大雨・洪水	市内全域	大雨警報は発表されなかったが、平、小名浜、勿来、常磐、内郷、四倉、好間、久之浜・大久の各地区で総雨量が 100 mm を超えた。また、福島県水防警報(新川)が発表された。 ○主な公共施設被害 (1)道路 5 箇所 (2)農業土木施設 2 箇所 (3)治山施設 1 箇所 ○住家・非住家等被害 (1)床下浸水 住家 2 棟 (2)その他(宅地冠水) 1 箇所 ○その他被害 土砂流入 1 箇所 ○被害額 22,920 千円
平成 22 年(2010) 6 月 30 日	大雨		総雨量は 34.0 mm(小名浜)～85.5 mm(田人)であり、福島県土砂災害警戒情報が発表された。 ○主な公共施設被害 (1)農業土木施設 1 箇所 ○被害額 3,000 千円

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況
平成 22 年(2010) 12 月 3 日	大雨	市内全域	早朝から雨が強まり、午前 9 時 10 分に大雨・洪水警報が発表されたが、その後雨が弱まり、午前 11 時 30 分に注意報に切り替えられた。また、午前 8 時 30 分に福島県水防警報(海岸)が発表されたが、午後 5 時 30 分に解除された。 ○主な公共施設被害 (1)道路 11 箇所 (2)農業土木施設 17 箇所 (3)林道施設 4 箇所 (4)農業関係施設等 1 箇所 (5)商工観光施設 1 箇所(背戸峨廊) (6)消防施設(防火水槽) 1 箇所 ○住家・非住家等被害 (1)床下浸水 住家 1 棟 (2)一部損壊 住家 1 棟 ○その他被害 (1)車両冠水 1 件 (2)がけ崩れ 2 件 ○被害額 19,650 千円
平成 22 年(2010) 12 月 22 日	大雨	市内全域	午前 9 時 50 分に大雨・洪水警報が発表され、遠野、三和、田人の各地区で総雨量が 100 mm を超えた。また、福島県水防警報(新川、海岸、夏井川)と福島県土砂災害警戒情報が発表された。 ○主な公共施設被害 (1)道路 17 箇所 (2)農業土木施設 10 箇所 (3)林業施設 11 箇所 ○住家・非住家等被害 (1)床下浸水 住家 2 棟 ○被害額 11,800 千円
平成 23 年(2011) 1 月 1 日 ～2 日	波浪	平、小名浜、四倉	平成 22 年 12 月 31 日午後 1 時 50 分に波浪警報が発表され、平成 23 年 1 月 1 日午前 10 時 20 分には福島県水防警報(海岸)が発表された。高波により、久之浜町田之網地区の店舗兼住宅に浸水被害が発生した。 ○住家・非住家等被害 店舗兼住宅 1 棟 ○被害額なし

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況
平成 23 年(2011) 7 月 19 日 ～20 日	大雨・洪水	市内全域	大雨による総雨量は平、勿来、常磐、内郷、四倉、遠野、小川、好間、田人、久之浜・大久で 100 mmを超え、特に小名浜では 221.5 mmを記録した。 ○主な公共施設被害 (1)道路 2 箇所 ○住家・非住家等被害 (1)床下浸水 住家 1 棟 (2)一部損壊 住家 1 棟 ○その他被害 がけ崩れ 2 箇所 ○被害額 4,400 千円
平成 23 年(2011) 9 月 21 日 ～22 日	台風 15 号	市内全域	非常に強い勢力となった台風 15 号は、午後 9 時頃にいわき市を通過し、市内各所に大きな被害をもたらした。また、平字七軒町地区などに避難勧告が発令されたほか、小名浜愛宕町地内などで自主避難があった。 ○主な公共施設被害 (1)道路 130 箇所、橋りょう 1 箇所 (2)河川・排水路 28 箇所 (3)農業土木施設等 132 箇所 (4)治山施設 1 箇所、林道施設等 95 箇所 (5)水道施設 1 箇所 (6)教育施設等 学校教育施設 17 箇所 社会教育施設 2 箇所 社会体育施設 1 箇所 ○住家・非住家等被害 (1)床下浸水 住家 29 棟、非住家 5 棟 (2)床上浸水 住家 3 棟、非住家 4 棟 (3)一部損壊 住家 1 棟 ○その他被害 (1)がけ崩れ 3 箇所 (2)農作物 13.66ha、農業関係施設等 7 件 (4)漁船被害 10 隻 ○避難状況等 (1)避難勧告 平字七軒町地区 対象 3 世帯 5 名(実避難者 5 名) 小川町三島地区・上平地区 対象 176 世帯 525 名(実避難者 160 名) (2)自主避難 小名浜愛宕町地内 1 世帯 1 名 小川町西小川字相川地内 1 世帯 2 名 小島町三丁目地内 2 世帯 3 名 好間町北好間字権現堂地内 1 世帯 1 名 四倉町下仁井田字須賀向地内 3 世帯 8 名 ○被害額 567,143 千円

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況
平成 23 年(2011) 10 月 22 日	大雨	市内全域	総雨量は 23.0 mm(川前)～55.0 mm(小名浜)であったが、内郷地区で住家の床下浸水被害が発生した。 ○主な公共施設被害 ○住家・非住家等被害 (1)床下浸水 住家 1 棟 ○被害額なし
平成 24 年(2012) 4 月 3 日 ～4 日	波浪	平、小名浜、四倉	波浪警報が発表されたほか、福島県水防警報(海岸)が発表された。波による被害は発生しなかったが、強風による倒木等の被害が発生した。。 ○主な公共施設被害 (1)道路 2 箇所 ○被害額 250 千円
平成 24 年(2012) 5 月 3 日 ～4 日	大雨・洪水	市内全域	遠野、三和、田人地区の総雨量が 200 mmを超えたほか、平、勿来、常磐、内郷、小川、好間、川前、久之浜・大久地区の総雨量が 100 mmを超えた。また、福島県土砂災害警戒情報が発表された。 ○主な公共施設等被害 (1)市道 64 箇所 (2)河川 16 箇所 (3)農業土木施設等 36 箇所 (4)林道施設等 120 箇所 (5)教育施設等 学校教育施設 5 箇所 ○住家・非住家等被害 (1)床下浸水 住家 3 棟 ○その他被害 (1)がけ崩れ 5 箇所 (2)その他 4 件 ○被害額 242,395 千円
平成 24 年(2012) 5 月 29 日	大雨	市内全域	各地区の総雨量は 12.5 mm(川前)～60.5 mm(勿来)であったが、勿来地区でがけ崩れ被害と落雷による電気設備の損傷被害(南の森スポーツパーク)が発生した。 ○主な公共施設等被害 (1)教育施設等 社会体育施設 1 箇所 ○その他 (1)がけ崩れ 1 箇所 ○被害額 10,100 千円

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況
平成 24 年(2012) 6 月 19 日 ～20 日	台風 4 号	市内全域	非常に強い台風 4 号は、19 日深夜から 20 日未明にかけていわき市付近を通過し、市内各所に大きな被害をもたらした。また、福島県水防警報(新川、好間川、夏井川、仁井田川、鮫川、海岸)、福島県土砂災害警戒情報が発表されたほか、錦町須賀地区には避難指示が、四倉町下仁井田字須賀向地区には避難勧告がそれぞれ発令された。 ○主な公共施設等被害 (1)市道 126 箇所 (2)河川等 26 箇所 (3)農業土木施設等 87 箇所 (4)林道施設等 89 箇所 (5)教育施設等 学校教育施設 5 箇所 社会体育施設 1 箇所 給食共同調理場 1 箇所 ○住家・非住家等被害 (1)半壊 住家 1 棟 (2)床上浸水 住家 1 棟、非住家 1 棟 (3)床下浸水 住家 13 棟、非住家 3 棟 ○その他被害 (1)がけ崩れ 9 箇所 (2)農作物 0.3ha、農業関係施設等 3 箇所 (3)水産業施設 1 箇所 ○避難状況等 (1)避難指示 錦町須賀地区 対象 13 世帯 40 人(避難者数 24 人) (2)避難勧告 四倉町下仁井田字須賀向地区 対象 10 世帯 35 人(避難者なし) ○被害額 512,284 千円
平成 24 年(2012) 7 月 6 日	大雨	市内全域	総雨量は、川前地区の 67.5 mm が最大で、それ以外の地区は 9.0 mm(小名浜、好間)～39.0 mm(田人)程度であった。公共施設等の被害は発生しなかったが、四倉地区でがけ崩れ被害が発生した。 ○その他被害 (1)がけ崩れ 1 箇所 ○被害額 100 千円

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況
平成 24 年(2012) 9 月 4 日	大雨	市内全域	総雨量は、小川地区の 59.5 mm が最大で、それ以外の地区は 7.0 mm (勿来)～45.0 mm (田人前山) 程度であった。公共施設等の被害は発生しなかったが、内郷地区で床下浸水被害が発生した。 ○住家・非住家被害 (1)床下浸水 住家 1 棟 ○被害額なし
平成 25 年(2013) 4 月 3 日	波浪		4 月 3 日に波浪警報及び福島県水防警報(海岸)が発表された。公共施設等の被害は発生しなかったが、小名浜でがけ崩れ被害が発生した。 ○その他被害 (1)がけ崩れ 1 箇所 ○被害額なし
平成 25 年(2013) 4 月 7 日	大雨・洪水		発達した低気圧に伴うゲリラ豪雨により、観測史上最大となる時間雨量 87.0 mm を記録し、市内各所に大きな被害をもたらした。特に、平、勿来、常磐、内郷地区の市街地において内水氾濫による浸水被害が発生したほか、常磐湯本町傾城地内では、土砂災害により家屋が全壊するなどの被害が発生した。 ○公共施設等被害 (1)市道等 113 箇所 (2)河川・排水路等 29 箇所 (3)公園等 8 箇所 (4)農業土木施設 73 箇所 (5)林道施設 80 箇所 (6)商工観光施設 2 箇所 (7)教育施設等 学校施設 13 箇所 その他施設 1 箇所 (8)その他市所管施設等 1 箇所 ○住家・非住家等被害 (1)全壊 住家 1 棟 (2)半壊 住家 1 棟 (3)一部損壊 住家 9 棟 (4)床上浸水 住家 116 棟、非住家 73 棟 (5)床下浸水 住家 264 棟、非住家 52 棟 ○その他被害 (1)がけ崩れ等 31 箇所 (2)農作物 0.8ha ○被害額 332,426 千円

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況
平成 25 年(2012) 7 月 22 日 ～23 日	大雨・洪水	市内全域	7 月 22 日の深夜時間帯(午後 10 時から 23 日午前 2 時)にかけて強い雨となり、特に遠野、三和地区で総雨量が 100 mmを超え、浸水被害等が発生した。また、福島県土砂災害警戒情報が発表された。 ○公共施設等被害 (1)市道等 4 箇所 (2)農業土木施設 7 箇所 (3)林道施設 37 箇所 (4)教育等施設 社会体育施設(市民運動場等) 1 箇所 ○住家・非住家等被害 (1)床上浸水 非住家 1 棟 (2)床下浸水 住家 1 棟 ○被害額 11,050 千円
平成 25 年(2013) 8 月 20 日	大雨	市内全域	短時間(午後 2 時～午後 4 時の 2 時間程度)のうちに強い雨が降り、常磐、内郷地区で浸水被害が発生した。 ○住家・非住家等被害 (1)床下浸水 住家 1 棟、非住家 3 棟 ○被害額なし
平成 25 年(2013) 9 月 15 日	大雨・洪水	市内全域	短時間(午前 11 時～午後 3 時の 4 時間程度)のうちに強い雨が降り、福島県水防警報、福島県土砂災害警戒情報が発表された。また、三和地区で浸水被害及び土砂災害が発生した。 ○住家・非住家等被害 (1)床下浸水 住家 2 棟 ○その他被害 (1)がけ崩れ等 1 箇所 ○被害額 500 千円
平成 25 年(2013) 9 月 16 日	台風 18 号	市内全域	西日本を中心に甚大な被害を及ぼした台風 18 号は、やや速い速度で福島県内を通過したことから、総雨量については、三和と田人(前山)で 75 mmを超えたほかは、7.5 mm(勿来)～49.5 mm(川前)と比較的少なかったが、公共施設等に被害が発生した。また、風による波浪の影響で、福島県水防警報(海岸)が発表された。 ○公共施設等被害 (1)市道等 15 箇所 (2)河川等 6 箇所 (3)農業土木施設 31 箇所 (4)治山施設 1 箇所、林道施設 20 箇所 ○被害額 50,000 千円

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況
平成 25 年(2013) 10 月 15 日 ～16 日	台風 26 号	市内全域	伊豆大島で大規模な土砂災害を引き起こした台風 26 号は、16 日午前に福島県沖を通過し、市内においても総雨量が 90.5 mm(小川)～139.5 mm(小名浜)の大雨となり、市内各所で被害が発生した。また、福島県水防警報(新川、海岸)と福島県土砂災害警戒情報が発表された。 ○公共施設等被害 (1)市道等 29 箇所 (2)河川等 3 箇所 (3)公園施設 4 箇所 (4)商工観光施設 4 箇所 (5)教育施設等 学校教育施設(小中学校) 3 箇所 社会教育施設(公民館) 1 箇所 (6)庁舎施設 1 箇所 (7)福祉施設等(保育所) 9 箇所 ○住家・非住家等被害 (1)全壊 非住家 1 棟 (2)一部損壊 住家 11 棟、非住家 2 棟 ○農業被害 (1)園芸関係施設 12 箇所 (2)農作物被害 10.08ha ○その他被害 (1)がけ崩れ等 5 箇所 (2)その他被害(民家板塀倒壊) 1 箇所 ○人的被害 (1)負傷者 軽傷 1 名 ○被害額 20,255 千円
平成 25 年(2013) 10 月 20 日 ～21 日	大雨・洪水	市内全域	四倉、久之浜・大久地区で総雨量が 100 mmを超えたほか、小川、川前地区を除く市内全域で総雨量が 70 mmを超え、浸水被害や土砂災害が発生した。また、福島県水防警報(新川)と福島県土砂災害警戒情報が発表された。 ○公共施設等被害 (1)市道等 2 箇所 (2)商工観光施設 1 箇所 ○住家・非住家等被害 (1)床下浸水 非住家 1 棟 ○その他被害 (1)がけ崩れ等 2 箇所 ○被害額 750 千円

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況
平成 25 年(2013) 10 月 25 日 ～26 日	台風 27 号 台風 28 号	市内全域 市内全域	ほぼ同時期に発生した台風 27 号と台風 28 号は、藤原の効果により速度が低くなるなど、不規則な動きであったが、いずれの台風も結果的には本州に上陸することはなく、市内の総雨量は約 3 日間で 36.0 mm(遠野)～58.0 mm(勿来)で大雨・洪水警報等は発表されなかった。しかしながら、比較的雨量が多かった勿来地区で土砂災害等の被害が発生した。 ○公共施設等被害 (1)林道施設 3 箇所 ○その他被害 (1)がけ崩れ等 1 箇所 ○被害額 350 千円
平成 26 年(2014) 4 月 4 日	大雨	市内全域	午前 2 時 45 分に大雨・洪水警報が発表され、市内各地区で総雨量が 100 mmを超えた。また、福島県夏井川洪水予報、福島県水防警報(新川、夏井川)、福島県土砂災害警戒情報が発表されたほか、内郷宮町地区及び中之作字榎戸地区に避難勧告が発令された。 ○公共施設等被害 (1)市道等 20 箇所 (2)河川排水路等 14 箇所 (3)公園等 1 箇所 (4)農業土木施設等 17 箇所 (5)林道施設 39 箇所 (6)治山 1 箇所 ○住家・非住家被害等被害 (1)全壊 住家 1 棟 (2)半壊 住家 1 棟 (3)一部損壊 住家 1 棟 (4)床上浸水 非住家 1 棟 (5)床下浸水 住家 12 棟 ○その他被害 (1)がけ崩れ等 11 箇所 (2)農作物被害 0.9ha (3)牧野関係 3 箇所 ○被害額(概算) 196,424 千円

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況
平成 26 年(2014) 10 月 6 日	台風 18 号	市内全域	午前 7 時 30 分に大雨・洪水・高潮・波浪警報が発表され、市内全域で総雨量が 100 mmを超えた。また、福島県水防警報(新川、夏井川)、福島県土砂災害警戒情報が発表され、市内全域に避難準備情報を発表した。 ○公共施設等被害 (1)市道等 17 箇所 (2)河川排水路等 3 箇所 (3)公園等 1 箇所 (4)農業土木施設等 15 箇所 (5)林道施設 18 箇所 ○住家・非住家被害等被害 (1)床上浸水 非住家 1 棟 (2)床下浸水 住家 9 棟 ○その他被害 (1)がけ崩れ等 8 箇所 (2)農作物被害 0.36ha (3)牧野関係 3 箇所 ○被害額(概算) 111,961 千円
平成 26 年(2014) 10 月 13 日 ～14 日	台風 19 号	市内全域	午後 6 時 57 分に大雨・洪水・波浪警報が発表され、市内各地区で総雨量が 100 mmを超えた。また、福島県夏井川洪水予報、福島県水防警報(新川、好間川、夏井川、仁井田川、鮫川、蛭田川、海岸)、福島県土砂災害警戒情報が発表された。 ○公共施設等被害 (1)市道等 26 箇所 (2)河川排水路等 3 箇所 (3)農業土木施設等 19 箇所 (4)林道施設 30 箇所 ○住家・非住家被害等被害 (1)床上浸水 住家 1 棟 (2)床下浸水 住家 3 棟 ○その他被害 (1)がけ崩れ等 10 箇所 (2)農作物被害 1.2ha (3)農業関連施設 1 箇所 ○被害額(概算) 45,275 千円

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況
平成 27 年(2015) 7 月 16 日 ～17 日	大雨	市内全域	7 月 16 日の午前 4 時 17 分に大雨・洪水警報が発表され、遠野、三和、田人、川前地区では総雨量が 100 mmを超えた。また、福島県土砂災害警戒情報が発表された。 ○公共施設等被害 (1)市道等 6 箇所 (2)農業土木施設 1 箇所 (3)林道施設 31 箇所 ○住家・非住家等被害 (1)床下浸水 住家 1 棟 ○その他被害 (1)がけ崩れ等 1 箇所 ○被害額(概算) 13,700 千円
平成 27 年(2015) 9 月 10 日 ～11 日	台風 18 号	市内全域	関東・東北地方に大規模な被害をもたらした、茨城県常総市の鬼怒川で堤防を決壊させた台風 18 号は、市内各地でも被害が発生し、三和、川前地区においては総雨量が 200 mmを超えた。また、福島県水防警報(新川、好間川、夏井川、海岸)、福島県土砂災害警戒情報が発表されたほか、市内各地に避難勧告等が発令された。 ○公共施設等被害 (1)市道等 19 箇所 (2)河川排水路等 6 箇所 (3)農業土木施設等 18 箇所 (4)林道施設 71 箇所 ○住家・非住家被害等被害 (1)床上浸水 住家 2 棟、非住家 1 棟 (2)床下浸水 住家 32 棟、非住家 5 棟 ○その他被害 (1)がけ崩れ等 11 箇所 (2)農作物被害 3.7ha (3)牧野関係 1 箇所 (4)車両等 1 台 ○被害額(概算) 112,584 千円

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況
平成 28 年(2016) 8 月 17 日	台風 7 号	市内全域	8 月 17 日の午前 0 時 20 分に大雨・洪水警報が発表され、市内各地区で総雨量が 100 mmを超えた。また、福島県水防警報(新川、海岸)、福島県土砂災害警戒情報が発表された。 ○公共施設等被害 (1)市道等 12 箇所 (2)河川排水路等 1 箇所 (3)農業土木施設 6 箇所 (4)林道施設 44 箇所 (5)商工観光施設 1 箇所 ○住家・非住家等被害 (1)床下浸水 住家 1 棟、非住家 1 棟 ○その他被害 (1)がけ崩れ等 1 箇所 (2)車両等 2 台 (3)プレハブ 1 棟 ○被害額(概算) 28,700 千円
平成 28 年(2016) 8 月 22 日 ～23 日	台風 9 号	市内全域	8 月 22 日の午後 1 時 55 分に大雨・洪水警報が発表され、三和地区で総雨量が 100 mmを超えた。また、福島県水防警報(新川、海岸)、福島県土砂災害警戒情報が発表され、市内全域に避難準備情報が発表されたほか、平下神谷地区及び四倉町下仁井田・細谷地区に避難勧告が発令された。 ○公共施設等被害 (1)市道等 2 箇所 (2)公園施設 1 箇所 (3)林道施設 7 箇所 (4)文教施設 1 箇所 (5)その他(市営住宅、庁舎) 3 箇所 ○住家・非住家等被害 (1)一部損壊 住家 4 棟、非住家 1 棟 ○その他被害 (1)がけ崩れ等 1 箇所 (2)農業土木施設 3 箇所 (3)農業関係施設 11 件 (4)農作物 10ha (5)車両 1 台 (6)墓地(法面崩落) 1 箇所 ○被害額(概算) 14,702 千円

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況
平成 28 年(2016) 8 月 29 日 ～8 月 31 日	台風 10 号	市内全域	台風 10 号は日本の南で複雑な動きをし、岩手県大船渡市付近に上陸し、岩手県岩泉町の高齢者施設では近くを流れる川が氾濫し入居者が犠牲となった。気象庁が統計を取り始めて以来、初めて東北地方の太平洋側に上陸した台風となる。 いわき市では、8 月 29 日の午後 11 時 20 分に大雨・洪水警報が発表され、雨量が多かったのは川前地区で総雨量が 94.5 mm だった。また、福島県水防警報(海岸)、福島県土砂災害警戒情報が発表され、市内全域に避難準備情報が発表された。 ○公共施設等被害 (1)農業土木施設 1 箇所 ○その他被害 (1)がけ崩れ等 1 箇所 (2)農地 1 箇所 ○被害額(概算) 500 千円
平成 29 年(2017) 10 月 22 日 ～10 月 23 日	台風 21 号	市内全域	台風 21 号は日本の南を北上した。静岡県御前崎市付近に上陸し、関東地方を通過して茨城県沖へ進んだ。その後、台風は三陸沖を北東へ進み。北海道の東で温帯低気圧に変わった。 いわき市では、10 月 22 日の午後 4 時 21 分に大雨・洪水警報が発表された。また、福島県土砂災害警戒情報が発表され、市内全域に避難準備情報が発表された。 ○その他被害 (1)がけ崩れ等 4 箇所 ○被害額なし
令和元年(2019) 9 月 9 日	台風 15 号	市内全域	台風 15 号は南鳥島近海で発生し、発達しながら小笠原諸島を北西に進み、非常に強い勢力となった伊豆諸島南部へと進んだ。台風は、強い勢力を保ったまま、三浦半島付近を通過し、千葉市付近に上陸後、千葉県から茨城県を北東に進み。日本の東海上で温帯低気圧に変わった。 いわき市では、暴風(陸上)警報・大雨警報・洪水警報が発表された。また、福島県土砂災害警戒情報が発表され、市内全域に避難準備情報・好間地区に避難指示情報が発令された。 ○公共施設等被害 (1)公共土木施設(市道等 19 箇所、河川等 3 箇所) (2)公園施設 2 箇所 (3)農林業施設(農業土木施設 9 箇所、林道 8 箇所) (4)文教施設 1 箇所 (5)その他(庁舎 1 箇所) ○その他被害 (1)がけ崩れ等 4 箇所 ○被害額(概算) 29,015 千円

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況
令和元年(2019) 10 月 12 日 ～10 月 13 日	台風 19 号	市内全域	台風 19 号は南鳥島近海で発生し、マリアナ諸島を西に進み、一時大型で猛烈な台風に発達した後、次第に進路を北に変え、日本の南を北上し、大型で強い勢力で伊豆半島に上陸した。その後、関東地方を通過し、日本の東で温帯低気圧に変わった。 いわき市では、暴風(陸上)警報・波浪警報・大雨警報・洪水警報・高潮警報が発表された。また、福島県土砂災害警戒情報・大雨特別警報が発表され、市内全域に避難準備情報・避難指示情報・災害発生情報が発令された。 ○公共施設等被害 (1)公共土木施設 (市道等 797 箇所、河川等 197 箇所) (2)公園施設 11 箇所 (3)農林業施設 (農業土木施設 725 箇所、林道 381 箇所、林業関係施設1箇所) (4)商工観光施設 4箇所 (5)水道施設 6箇所 (6)文教施設 16 箇所 (5)その他(市営住宅等 128 箇所) ○その他被害 (1)がけ崩れ 243 箇所 (2)農地被害 394 箇所 (3)農林業関係施設被害等 117 件 (4)農作物被害 23 種 (5)商工観光施設被害 322 事業所 (6)文教施設・水産業施設被害 1件 (7)その他 84 件 ○被害額(概算) 23,409,911 千円
令和2年(2020) 1月 28 日 ～1月 29 日	大雨	市内全域	1月 28 日の午後9時 17 分に波浪警報が発表され、平、小名浜、勿来、常磐、内郷、遠野、小川、好間、三和、田人地区では総雨量が 100 mmを超えた。また、福島県土砂災害警戒情報が発表された。 ○公共施設等被害 (1)市道等 2箇所 (2)その他(庁舎1箇所) ○その他被害 (1)がけ崩れ等 1 箇所

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況
令和2年(2020) 1月28日 ～1月29日	台風19号	市内全域	1月28日の午後9時17分に波浪警報が発表され、平、小名浜、勿来、常磐、内郷、遠野、小川、好間、三和、田人地区では総雨量が100mmを超えた。また、福島県土砂災害警戒情報が発表された。 ○公共施設等被害 (1)市道等 2箇所 (2)その他(庁舎1箇所) ○その他被害 (1)がけ崩れ等 1箇所
令和3年(2021) 8月13日 ～8月15日	大雨	市内全域	8月13日の午前2時59分に大雨警報が発表され、市内全域で総雨量が100mmを超えた。また、福島県土砂災害警戒情報が発表され、勿来、田人地区に高齢者等避難情報が発令された。 ○その他被害 (1)がけ崩れ 3箇所 (2)道路通行止め 16箇所
令和3年(2021) 12月1日	大雨	市内全域	12月1日の午前7時48分に大雨警報が発表された。また、福島県土砂災害警戒情報が発表され、内郷地区に避難指示情報が発令された。 ○その他被害 (1)土砂災害 3箇所 (2)道路通行止め 6箇所 (3)文教施設 1箇所 ○住家・非住家等被害 (1)床下浸水 住家 4棟
令和5年(2023) 9月6日	大雨	市内全域	9月6日午前10時34分に大雨警報(土砂災害)発表され、以降は、土砂災害警戒情報、大雨警報(浸水害)が発表された。 また、内郷地区宮川流域において、はん濫危険水位に到達したことに伴い、午前11時50分に避難指示を発令した。 ○その他被害 (1)土砂災害 2箇所 (2)道路通行止め 4箇所 ○住家・非住家等被害 (1)床上浸水 1棟 (2)床下浸水 4棟

令和5年9月6日 ～9月8日	台風 13 号	市内全域	日本の南で発生した台風第 13 号及び台風第 13 号から変わった熱帯低気圧の影響により暖かく湿った空気が流れ込み8日から9日にかけて大気の状態が非常に不安定となった。 いわき市では、断続的に激しい雨や非常に激しい雨が降り局地的に猛烈な雨が降った。8日夜には浜通りで線状降水帯が発生し、記録的短時間大雨情報を8日 19 時 41 分(いわき市南部付近で約 110 ミリ)、21 時 08 分(いわき市南部付近で約 110 ミリ)及び 21 時 48 分(いわき市北部付近で約 110 ミリ)に発表した。8日 09 時から9日 12 時までの総降水量は、いわき市山田 194mm、いわき市平 189mm と、9月の平年の月降水量に匹敵する大雨となった。 いわき市では、大雨警報、洪水警報、土砂災害警戒情報が発表され、市内全域に、高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保が発令された。 この大雨により土砂崩れや河川の氾濫等が発生し、多数の住家浸水等の被害が発生した。 ○公共施設等被害 (1)公共土木施設 (市道等 308 箇所、河川等 81 箇所) (2)公園施設 4箇所 (3)農林業施設 (農業土木施設 611 箇所、林道 197 箇所) (4)商工観光施設 1箇所 (5)水道施設 12 箇所 (6)文教施設 11 箇所 (7)その他(市営住宅等) 19 箇所 ○その他被害 (1)がけ崩れ 111 箇所 (2)農地被害 218 箇所 (3)農林業施設被害 27 件 (4)農作物被害 15 種 (5)水産業施設被害 1件 (6)商工観光施設被害 140 事業所 (7)その他 46 件 ○被害額(概算) 4,976,360 千円
<u>令和6年(2024)</u> <u>8月 11 日</u> <u>～8月 12 日</u>	<u>台風第5号</u>	<u>市内全域</u>	<u>8月 11 日午前6時 17 分に暴風警報(海上)及び波浪警報が発表され、以降は、暴風(陸上)が発表された。</u> <u>また、台風接近に伴い高齢者等避難を同日午後 3時に発令した。</u>

<u>令和6年(2024)</u> <u>8月16日</u> <u>～8月17日</u>	<u>台風第7号</u>	<u>市内全域</u>	<u>8月16日午前6時30分に暴風警報(海上)及び</u> <u>波浪警報が発表され、以降は、暴風(陸上)、福島県</u> <u>水防警報が発表された。</u> <u>また、台風接近に伴い高齢者等避難を同日午前</u> <u>10時30に発令、午後3時に線状降水帯発生危険</u> <u>性が高まったため、避難指示を発令した。</u>
--	--------------	-------------	---

地 震

年 月 日	名 称	発生場所	被 害 状 況	震 度
永禄 6 年(1563) 3 月 10 日	地震	県下全域	県下全域に強い地震があった。	
正保3年(1646) 6 月 9 日	地震	県下全域	県下全域に強い地震があった。	
延宝 5 年(1677) 11 月 4 日	地震 ・津波	磐城地方	磐城地方に強い地震があり、500 余名が死亡した。また、午後 8 時ごろ小名浜に津波があり、家屋 1,000 余戸が流失し、80 余名が溺死した。	
元禄 9 年(1696) 7 月 25 日	地震 ・高潮	磐城地方	磐城地方に強い地震があり、小名浜に高潮がきた。この地震と高潮のため 2,450 名が死亡した。	
元禄 16 年(1703) 12 月 31 日	地震 ・津波	磐城地方	午後 8 時ごろ磐城地方に強い地震があり、小名浜に津波がきたが、被害は軽微であった。	
宝永 7 年(1710) 9 月 15 日	地震	磐城地方	磐城地方に強い地震があり、平で家屋 9 戸が倒壊した。	
天保 6 年(1835) 6 月	地震 ・津波	磐城地方	磐城地方に強い地震があり、津波も発生した。	
明治 30 年(1897) 2 月 20 日	地震	県下全域	県下全域に強い地震があった。	
大正 12 年(1923) 9 月 1 日	関東 大震災	県下全域	午前 11 時 58 分ごろ、関東大震災が起こった。このため本県でも全域に強い地震があり、特に浜通り南部が強く、石城平野では大部分の町民がおりから暴風雨の戸外に飛び出した。 この地震で品川煉瓦会社第一工場の煙突が倒壊し、付近の住家を破損して、重傷者 3 名、軽傷者 4 名を出したのをはじめ、内郷村に通ずる尼子橋が破壊するなどの被害が出た。また、平局内の電話は全面不通となった。	小名浜 5 福 島 4
昭和 2 年(1927) 8 月 6 日	地震	県下全域	午前 6 時 13 分ごろ、宮城県沖を震源地とする地震が発生した。震源地に近い県下全域に被害を出した。 石城郡平町などでは、大きな煙突が折れるなど被害が出た。	福 島 5 小名浜 4
昭和 11 年(1936) 11 月 3 日	地震	県下全域	午前 5 時 46 分ごろ、宮城県沖を震源とする地震があった。 このため県内でも屋根がわらや土蔵壁の剥落、道路の亀裂などの被害が起きた。	小名浜 5 福 島 4
昭和 13 年(1938) 5 月 23 日	地震	県下全域	午後 4 時 19 分ごろ、茨城県沖を震源とする強い地震があり、県内各地に被害が見られた。家屋や土蔵の壁剥離や亀裂 250 箇所、煙突の倒壊や折損したもの 7 箇所、橋や堤防の亀裂 6 箇所、炭焼がま・瀬戸焼がまの損壊 96 箇所あり、損害額 10,483 円。 塩屋埼灯台のレンズ 6 枚も破損した。	小名浜 5 福 島 5

年月日	名称	発生場所	被害状況	震度
昭和 13 年(1938) 11 月 5 日	地震	県下全域	午後 5 時 43 分ごろ、県下各地に強い地震があった。震源は福島県沖で、県内の被害は死者 1 名、負傷者 9 名、住家全壊 4 戸、半壊 29 戸、非住家全壊 16 棟、半壊 42 棟などであった。	小名浜 5 福 島 5
昭和 35 年(1960) 3 月 21 日	津波	浜通り海岸	午前 2 時 07 分ごろ、三陸沖を震源とする地震が起きた。この地震のため、午前 3 時 52 分ごろ浜通り海岸に 20cm くらいの津波が襲来し、午前 4 時 50 分ごろには 50cm を越えた。	福 島 3 小名浜 1
昭和 35 年(1960) 5 月 24 日	チリ地震津波	浜通り海岸	23 日チリ南部沖にマグニチュード 8.5 の大地震が起き、津波が発生した。17,000km を隔てた太平洋を時速 600～800km で渡ってきて、24 日午前 3 時ごろ、浜通り海岸一帯に津波第一波が襲来。6 時 10 分ごろ最大のものが襲来。波高 3.4m。この津波で 11 世帯 57 名が被災し、2 名の死者を出した。	
昭和 43 年(1968) 2 月 26 日	地震	県下全域	午前 5 時ごろ、本県沖深さ約 50km のところを震源地とする地震があった。 このため、常磐線の列車が徐行運転した他、いわき市・相馬市・その他の所でため池損壊 4 箇所、水路損壊 23 箇所、揚水機破損 1 箇所の被害を出し、損害額 1 億 735 万円に達した。	小名浜 3 福 島 3 白 河 3
昭和 43 年(1968) 5 月 16 日	十勝沖地震	県下全域	午前 9 時 48 分ごろ、県下全域に強い地震があった。小名浜には津波の第一波が午前 10 時 50 分に 43cm、最大波が午後 3 時 09 分に 57cm の津波が襲来した。 この地震で県内各地に被害があった。	小名浜 4 福 島 4 白 河 4
昭和 53 年(1978) 6 月 12 日	宮城県沖地震	県下全域	午後 5 時 14 分ごろ、東北地方を中心にかなり強い地震が発生。震源地は宮城県沖でマグニチュード 7.4 の 40 年ぶりの大地震となった。被害は、県北、相双地区を中心として県下全域におよび、4 区には津波警報が発表された。 県内の人的、住家被害は死者 1 人、重傷者 4 人、軽傷者 45 人、全壊 6 戸、半壊 60 戸、一部破損 1,672 戸。 被害総額は 2,777,563 千円であった。	福 島 5 小名浜 4 白 河 4 若 松 4
昭和 62 年(1987) 2 月 6 日	福島県沖地震	県下全域	午後 9 時 23 分、県下全域に強い地震があった。マグニチュード 6.4 であったが、津波は観測されず、被害もなかった。	小名浜 4 白 河 4 福 島 3
			午後 10 時 16 分、福島県沖を震源地とする強い地震が発生した。マグニチュード 6.7 であったが、被害は軽微であった。また、津波注意報が発表されたが、津波は観測されなかった。	小名浜 5 白 河 5 福 島 3
昭和 62 年(1987) 4 月 7 日	福島県沖地震	県下全域	午前 9 時 40 分ごろ、県下全域に強い地震があった。震源地は福島県沖で、マグニチュード 6.0 であった。 この地震によって、午前 9 時 49 分に 4 区に津波注意報が発表されたが、津波は観測されなかった。	小名浜 5 福 島 4 白 河 4

年月日	名称	発生場所	被害状況	震度
昭和 62 年(1987) 4 月 23 日	福 島 県 沖地震	県下全域	午前 5 時 13 分ごろ県下全域に強い地震があった。震源地は福島県沖で、震源の深さは 40km、マグニチュードは 6.5 であった。	白 河 5 小名浜 4 福 島 4
平成元年(1989) 11 月 2 日	津波	浜通り海岸	午前 3 時 25 分ごろ、三陸沖を震源とする地震が発生した。 この地震により、午前 3 時 34 分に 4 区に津波警報が発表され、午前 4 時 34 分に第一波(8cm)、午前 6 時 54 分に最大波高(25cm)を小名浜港で記録した。	福 島 2 小名浜 1 白 河 1
平成 5 年(1993) 1 月 15 日	釧 路 沖 地震	県下全域	午後 8 時 06 分ごろ、釧路沖を震源とする強い地震があった。	小名浜 4 福 島 3 白 河 3
平成 6 年(1994) 10 月 4 日	北 海 道 東 方 沖 地震	県下全域	午後 10 時 23 分頃、マグニチュード 8.1 の地震が発生し、釧路等で震度 6 を記録した。 この地震により、午後 10 時 36 分 4 区に津波注意報が発表された。なお、その後の北海道の現場の津波状況の変化から午後 11 時 34 分に 4 区は津波警報に切替られた。小名浜港では第一波が、午後 11 時 54 分に 31cm、5 日 8 時 18 分に最大波高 67cm が観測された。	小名浜 3 福 島 3 白 河 3
平成 6 年(1994) 12 月 28 日	三 陸 は る か 沖 地震	県下全域	午後 9 時 19 分頃、マグニチュード 7.5 の地震が発生し、八戸で震度 6 を記録した。 この地震により、午後 9 時 23 分に 4 区は津波警報が発表された。小名浜港では第一波が、午後 10 時 34 分に 11cm、29 日午前 2 時 25 分に最大波高 27cm が観測された。	小名浜 3 福 島 3 白 河 2 若 松 2
平成 7 年(1995) 一 月 17 日	兵 庫 県 南 部 地 震 (阪 神・淡路 大震災)		午前 5 時 46 分頃、淡路島北部を震源とするマグニチュード 7.2 の地震が発生した。 この地震により揺れは小名浜でも観測された。当市の被害はなかったが、神戸市を中心にした直下型の地震で死者は 5,000 人を越え、建物や高速道路の倒壊など都市機能に壊滅的な打撃を与えた大災害となった。	小名浜 1
平成 10 年(1998) 4 月 9 日	福 島 県 沖地震	県下全域	午後 5 時 45 分頃、本県沖を震源とするマグニチュード 5.4 の地震が発生した。この地震で人的被害はなかったが、JR常磐線のレール点検による運休や徐行運転、東北新幹線の送電が一時ストップする等、ラッシュ時であったため、約 3,800 人もの人が影響を受けた。	浪 江 4 小名浜 3 福 島 3 白 河 3 原 町 3 郡 山 3
平成 11 年(1999) 3 月 26 日	地震	県南	午前 8 時 31 分頃、茨城県北部を震源とするマグニチュード 5.1 の地震が発生した。 この地震により、JR常磐線は一時徐行運転など行いダイヤが乱れた。	小名浜 3 棚 倉 3
平成 11 年(1999) 4 月 25 日	地震	県南	午後 9 時 27 分頃、茨城県北部を震源とするマグニチュード 5.2 の地震が発生した。 この地震により、JR常磐線は一時運転見合わせなどダイヤが乱れた。	小名浜 3 郡 山 3 白 河 3 棚 倉 3

年月日	名称	発生場所	被害状況	震度
平成 12 年(2000) 7 月 21 日	地震	県南	午前 3 時 39 分、茨城県沖を震源とするマグニチュード 6.1 の地震が発生した。 この地震により、JR常磐線は一時運転を見合わせるなどダイヤが乱れた。	小名浜 4 郡山 4 白河 4 棚倉 4
平成 14 年(2002) 2 月 12 日	地震	県下全域	午後 10 時 44 分頃、茨城県沖を震源とするマグニチュード 5.5 の地震が発生した。 この地震により、JR常磐線は一時運転を見合わせるなどダイヤが乱れた。	小名浜 4 郡山 4 平 3
平成 15 年(2003) 5 月 26 日	地震	県下全域	午後 6 時 24 分頃、宮城県沖を震源とするマグニチュード 7.0 の地震が発生した。 この地震により、JR常磐線は一時運転を見合わせるなどダイヤが乱れた。	相馬 5 弱 富岡 5 弱 平 4 小名浜 4
平成 15 年(2003) 7 月 26 日	地震	県下全域	午前 7 時 13 分頃、宮城県北部を震源とするマグニチュード 6.2 の地震が発生した。	小名浜 4 新地 4
平成 15 年(2003) 9 月 26 日	津波	福島県 (沿岸全域)	午前 4 時 50 分頃、釧路沖を震源とするマグニチュード 8.0 の地震が発生した。 この地震により、26 日午前 4 時 56 分福島県に津波注意報が発表され、午前 6 時 15 分に第一波(10 cm)、午前 8 時 23 分に最大波高(20 cm)を小名浜港で記録した。	平 2 小名浜 2
平成 16 年(2004) 10 月 23 日	新潟県 中越地震	県下全域	午後 5 時 56 分頃、新潟県中越地方を震源とするマグニチュード 6.8 の地震が発生した。 この地震により新潟県では最大震度 7 を観測した。	小名浜 4 平 3 只見 5 弱 野沢 5 弱 柳津 5 弱
平成 17 年(2005) 1 月 1 日	地震	県下全域	午前 5 時 14 分頃、茨城県沖を震源とするマグニチュード 5.3 の地震が発生した。	平 4 相馬 4 小名浜 3 (他県内 10 の市町村 4)
平成 17 年(2005) 8 月 16 日	地震	県下全域	午前 11 時 46 分頃、宮城県沖を震源とするマグニチュード 7.2 の地震が発生した。 この地震により宮城県では最大震度 6 弱を観測した。	相馬市 5 強 国見町 5 強 川俣町 5 強 新地町 5 強 鹿島町 5 強 福島市 5 弱 平 4 小名浜 4 (他県内 10 の市町村 5 弱)
平成 17 年(2005) 10 月 19 日	地震	県下全域	午前 8 時 44 分頃、茨城県沖を震源とするマグニチュード 6.3 の地震が発生した。	小名浜 4 平 3 (他県内 6 の市町村 4)

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況	震 度
平成 17 年(2005) 10 月 22 日	地震	県下全域	午後 10 時 12 分頃、福島県沖を震源とするマグニチュード 5.5 の地震が発生した。	平 4 小名浜 4 (他県内 10 の市町村 4)
平成 17 年(2005) 11 月 15 日	津波	福島県 (沿岸全域)	午前 6 時 39 分頃、三陸沖を震源とするマグニチュード 6.9 の地震が発生した。 この地震により、午前 6 時 46 分福島県に津波注意報が発表されたが、津波は観測されなかった。	平 2 小名浜 2
平成 18 年(2006) 11 月 15 日	津波	福島県 (沿岸全域)	午後 8 時 15 分頃千島列島を震源とするマグニチュード 7.9 の地震が発生した。 この地震により午後 8 時 30 分福島県に津波注意報が発表され、小名浜で 0.2m の津波が観測された。	地震は観測されなかった。
平成 19 年(2007) 1 月 13 日	津波	福島県 (沿岸全域)	午後 1 時 24 分頃北西太平洋を震源とするマグニチュード 8.2 の地震が発生した。 この地震により午後 1 時 36 分福島県に津波注意報が発表され、小名浜で 0.1m の津波が観測された。	平四ツ波 2 小名浜 1 錦町 1
平成 19 年(2007) 3 月 25 日	能登半島地震	県下全域	午前 9 時 51 分頃能登半島沖を震源とするマグニチュード 6.9 の地震が発生した。 石川県七尾市、輪島市、穴水町で震度 6 強を観測したほか、北陸地方を中心に北海道から中国・四国地方にかけて震度 6 弱～1 を観測した。 死者 11 名、負傷者 336 名、住家全壊 580 棟、住家半壊 1,063 棟などの被害が生じた。	小名浜 2
平成 19 年(2007) 7 月 16 日	新潟県中越沖地震	県下全域	午前 10 時 13 分頃新潟県上中越沖を震源とするマグニチュード 6.8 の地震が発生した。 新潟県長岡市、柏崎市、刈羽村、長野県飯綱町で震度 6 強を観測したほか、北陸地方を中心に東北地方から近畿・中国地方にかけて震度 6 弱～1 を観測した。 死者 11 名、負傷者 1,985 名、住家全壊 1,024 棟、住家半壊 1,441 棟などの被害が生じた。	小名浜 3 錦 3 平 2
平成 19 年(2007) 8 月 17 日	津波	福島県 (沿岸全域)	日本時間 16 日午前 8 時 41 分頃ペルー沖でマグニチュード 7.9 の地震が発生した。 この地震により 17 日午前 1 時 04 分北海道から沖縄にかけての太平洋沿岸に津波注意報が発表され、小名浜で 0.1m の津波が観測された。	地震は観測されなかった。
平成 20 年 (2008) 5 月 8 日	地震	県下全域	午前 1 時 45 分頃茨城県沖を震源とするマグニチュード 6.7 の地震が発生した。この地震により、茨城県水戸市と栃木県茂木町では震度 5 弱を観測したほか、関東地方を中心に、北海道から近畿地方にかけて震度 4～1 を観測した。若干の海面変動が観測された。 なお、当市小名浜地区で市道埋設配湯管 1 箇所が破裂したが、午前 8 時 30 分に復旧した。	小名浜 4 錦町 4 三和 3 平 3 (県内 12 市町村で 4)

年月日	名称	発生場所	被害状況	震度
平成20年(2008) 6月14日	岩手・宮城内陸地震	県下全域	午前8時43頃岩手県内陸南部を震源とするマグニチュード7.2の地震が発生した。この地震により、岩手県奥州市と宮城県栗原市では震度6強を観測したほか、東北地方を中心に、北海道から関東・中部地方にかけて震度5強～1を観測した。この地震による津波の発生は無かったが、死者13名、負傷者451名、行方不明10名、住家全壊30棟、半壊143棟、一部破損2,380棟の被害が生じた。 なお、当市では、がけ崩れにより1名が死亡した。	小名浜 4 錦町 3 三和 3 平 3 (県内25市町村で4、新地町5弱)
平成20年(2008) 7月19日		福島県 (沿岸全域)	午前11時39分頃福島県沖を震源とするマグニチュード6.6の地震が発生した。この地震により午前11時41分福島県・宮城県沿岸に津波注意報が発表されたが、当市では津波は観測されなかった。	小名浜 3 錦町 3 三和 3 平 3 (県内6市町で4)
平成20年(2008) 7月24日	岩手県沿岸北部地震	県下全域	午前0時26分頃岩手県沿岸北部を震源とするマグニチュード6.8の地震が発生した。この地震により、青森県八戸市等で震度6弱を観測したほか、東北地方を中心に、北海道から近畿地方の一部にかけて震度5強～1を観測したが、この地震による津波の発生は無かった。 なお、当市では、入院患者がベッドから転落し、1名が死亡した。	小名浜 4 錦町 3 三和 3 平 3 (県内21市町村で4)
平成21年(2009) 9月30日	津波	福島県 (沿岸全域)	午前2時48分頃南太平洋(サモア諸島付近)を震源とするマグニチュード8.3の地震が発生した。この地震により、太平洋沿岸に津波注意報が発表された。 なお、午後3時00分に津波注意報の解除が発表され、当市では津波は観測されなかった。	地震は観測されなかった。
平成22年(2010) 2月28日	津波	福島県 (沿岸全域)	平成22年(2010年)2月27日午後3時34分頃(日本時間)チリ中部沿岸を震源とするマグニチュード8.5の地震が発生した。この地震により、2月28日午前9時33分福島県沿岸に津波注意報が、同日午後7時1分には津波警報が発表された。 なお、3月1日午前1時7分に津波注意報へ切り替わり、同日午前10時15分には津波注意報の解除が発表された。 当市では、2月28日午後7時56分に、最大波73cmの津波を観測した。	地震は観測されなかった。

年 月 日	名 称	発生場所	被 害 状 況	震 度
平成 23 年(2011) 3 月 9 日	三陸沖の 地震	県下全域	午前 11 時 45 分頃三陸沖を震源とするマグニチュード 7.3 の地震が発生した。この地震により、午前 11 時 48 分青森県太平洋沿岸、岩手県、宮城県、福島県沿岸に津波注意報が発表された。 当市では、午後 3 時 6 分に最大波 17 cm を観測した。	小名浜 3 錦町 3 三和 3 平 3 (県内最大震度は国見町で 4)
平成 23 年(2011) 3 月 10 日	三陸沖の 地震	県下全域	午前 6 時 23 分頃三陸沖を震源とするマグニチュード 6.8 の地震が発生した。この地震により午前 6 時 28 分福島県沿岸に津波注意報が発表されたが、当市では津波は観測されなかった。	小名浜 3 錦町 2 三和 2 平 3
平成 23 年(2011) 3 月 11 日	東北地方 太平洋沖 地震(東 日本大震 災)	県下全域	午後 2 時 46 分頃三陸沖を震源とするマグニチュード 9.0 の地震が発生し、宮城県栗原市で震度 7 を観測したほか、東北地方を中心に、北海道から九州地方の一部にかけて震度 6 強～1 を観測した。 この地震により午後 2 時 49 分に岩手県、宮城県、福島県に大津波警報が、そのほかの広い範囲の沿岸域で津波警報、津波注意報が発表された。 当市では、15 時 39 分に最大波 3.33m 以上の津波が観測され、3 月 13 日午後 5 時 58 分に津波注意報が解除されるまで、沿岸部を中心に甚大な被害が生じた。 ※当市の被害状況(平成 25 年 12 月末現在) ・死亡者数 446 名 ○内訳 - 直接死 293 名 - 関連死 116 名 - 死亡認定を受けた行方不明者 37 名 ・建物被害 90,541 棟(非住家含む) ○内訳 - 全壊 7,917 棟 - 大規模半壊 7,280 棟 - 半壊 25,257 棟 - 一部損壊 50,087 棟	小名浜 6弱 錦町 6弱 三和 6弱 平 5強 (県内最大震度は 11 市町村で 6 強)

年月日	名称	発生場所	被害状況	震度
平成23年(2011) 3月23日	福島県 浜通りの 地震	県下全域	午前7時12分頃福島県浜通りを震源とするマグニチュード6.0の地震が発生した。 午前7時34分頃福島県浜通りを震源とするマグニチュード5.5の地震が発生した。 午前7時36分頃福島県浜通りを震源とするマグニチュード5.8の地震が発生した。 午後6時55分頃福島県浜通りを震源とするマグニチュード4.7の地震が発生した。	○午前7時12分 三和 5強 小名浜 4 錦 4 平 4 ○午前7時34分 三和 5強 錦 4 平 4 小名浜 3 ○午前7時36分 三和 5弱 小名浜 4 錦 4 平 4 ○午後6時55分 三和 5強 平 3 小名浜 2 錦 2
平成23年(2011) 4月7日	宮城県沖 の地震及 び津波	県下全域	午後11時32分頃宮城県沖を震源とするマグニチュード7.2の地震が発生し、宮城県栗原市で震度6強を観測したほか、東北地方を中心に、北海道から中国地方の一部にかけて震度6強～1を観測した。 この地震により、午後11時34分宮城県沿岸に津波警報が、青森県太平洋沿岸、岩手県、福島県、茨城県に津波注意報が発表されたが、当市では津波は観測されなかった。	小名浜 4 錦町 4 三和 4 平 4 (県内最大震度は8市町村で5強)
平成23年(2011) 4月11日	福島県 浜通りの 地震	県下全域	午後5時16分頃福島県浜通りを震源とするマグニチュード7.0の地震が発生した。 この地震により、午後5時18分茨城県沿岸に津波警報が、宮城県、福島県、千葉県九十九里・外房沿岸に津波注意報が発表されたが、当市では津波は観測されなかった。 なお、田人地区の土砂崩れにより3名が死亡した。	錦町 6弱 小名浜 5強 三和 5強 平 5弱 (県内最大震度は3市町村で6弱)
平成23年(2011) 4月12日	福島県 中通りの 地震	県下全域	午後2時7分頃福島県中通りを震源とするマグニチュード6.4の地震が発生した。	錦町 6弱 三和 6弱 小名浜 5強 平 5弱

年 月 日	名 称	発生場所	被 害 状 況	震 度
平成23年(2011) 5 月 6 日	福島県 浜通りの 地震	県下全域	午前2時4分頃福島県浜通りを震源とする マグニチュード5.2の地震が発生した。	三和 5弱 小名浜 3 錦 3 平 4
平成23年(2011) 5 月 25 日	福島県 浜通りの 地震	県下全域	午前5時36分頃福島県浜通りを震源とする マグニチュード5.0の地震が発生した。	三和 5弱 小名浜 3 錦 2 平 3
平成23年(2011) 6 月 4 日	福島県沖 の地震	県下全域	午前1時00分頃福島県沖を震源とするマ グニチュード5.5の地震が発生した。	三和 5弱 小名浜 4 錦 3 平 3
平成23年(2011) 7 月 10 日	津波	福島県 (沿岸全域)	午前9時57分頃三陸沖を震源とするマグ ニチュード7.3の地震が発生し、東北地方を 中心に、北海道から近畿地方の一部にかけ て震度4～1を観測した。 この地震により、午前10時00分岩手県、 宮城県、福島県沿岸に津波注意報が発表さ れたが、当市では津波は観測されなかった。	小名浜 3 錦町 3 三和 3 平 3 (県内最大震度 は3市町村で4)
平成23年(2011) 8 月 19 日	福島県沖 の地震	福島県 (沿岸全域)	午後2時36分頃福島県沖を震源とするマ グニチュード6.5の地震が発生し、須賀川市 などで震度5弱を観測したほか、東北地方を 中心に、北海道から東海地方の一部にかけ て震度5弱～1を観測した。 この地震により、午後2時38分宮城県、福 島県沿岸に津波注意報が発表されたが、当 市では津波は観測されなかった。	錦町 3 小名浜 3 三和 4 (県内最大 震度は6市町村で 5弱)
平成23年(2011) 9 月 29 日	福島県 浜通りの 地震	県下全域	午後7時5分頃福島県浜通りを震源とする マグニチュード5.4の地震が発生した。	錦町 4 三和 5強 小名浜 4 平 4
平成24年(2012) 8 月 31 日	津波	福島県 (沿岸全域)	午後9時47分頃フィリピン諸島でマグニ チュード7.6の地震が発生した。この地震によ り、午後10時7分太平洋沿岸に津波注意報 が発表されたが、当市では津波は観測されな かった。	
平成24年(2012) 12 月 7 日	津波	福島県 (沿岸全域)	午後5時18分頃三陸沖を震源とするマグ ニチュード7.3の地震が発生し、宮城県栗原 市などで震度5弱を観測したほか、東北地方 を中心に、北海道から九州地方の一部にかけ て震度5弱～1を観測した。 この地震により、午後5時22分に宮城県に 津波警報が、青森県太平洋沿岸、岩手県、福 島県、茨城県に津波注意報が発表された。 当市では、午後8時44分に最大波8cmを 観測した。	錦町 4 三和 4 小名浜 4 平 4

年 月 日	名 称	発生場所	被 害 状 況	震 度
平成25年(2013) 2月6日	津波	福島県 (沿岸全域)	午前10時12分頃サンタクルーズ諸島を震源とするモーメントマグニチュード7.9の地震が発生した。この地震により、午後2時41分に太平洋沿岸に津波注意報が発表された。 当市では、午後9時8分に、最大波11cmの津波を観測した。	地震は観測されなかった。
平成25年(2013) 9月20日	福島県 浜通りの地震	県下全域	午前2時25分頃福島県浜通りを震源とするマグニチュード5.9の地震が発生した。	三和 5強 平 5強 錦町 5強 小名浜 5弱
平成25年(2013) 10月26日	福島県沖の地震・津波	県下全域	午前2時10分頃福島県沖を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生した。この地震により、午前2時14分に福島県に、午前2時50分には岩手県、宮城県、茨城県、千葉県九十九里・外房沿岸に津波注意報が発表されたが、当市では津波が観測されなかった。	小名浜 3 錦町 3 三和 3 平 3 (県内 6市村で4)
平成26年(2014) 4月2日	津波	福島県 (沿岸全域)	平成26年(2014年)4月2日午前8時46分頃(日本時間)チリ北部沖約100kmの太平洋を震源とするマグニチュード8.2の地震が発生した。この地震により、4月3日午前3時00分福島県沿岸に津波注意報が発表され、同日午後6時00分には津波注意報の解除が発表された。 当市では、4月2日午後2時19分に、最大20cmの津波を観測した。	地震は観測されなかった。
平成26年(2014) 6月16日	福島県沖の地震・	県下全域	午前5時14分頃福島県沖を震源とするマグニチュード5.8の地震が発生した。	三和 4 錦町 4 平 4 小名浜 3
平成26年(2014) 7月12日	福島県沖の地震・津波	県下全域	午前4時22分頃福島県沖を震源とするマグニチュード6.8の地震が発生した。この地震により、午前4時26分、福島県に津波注意報が発表された。	小名浜 4 錦町 3 三和 3 平 3
平成26年(2014) 11月20日	福島県沖の地震	県下全域	午前10時51分頃福島県沖を震源とするマグニチュード5.3の地震が発生した。	三和 4 小名浜 平 3 錦町 3

年 月 日	名 称	発 生 場 所	被 害 状 況	震 度
平成27年(2015) 8 月 14 日	福島県 浜通りの地震	県下全域	午前5時13分頃福島県沖を震源とするマグニチュード5.0の地震が発生した	三和 4 平 3 錦町 3 小名浜 2
平成27年(2015) 9 月 17 日	津波	福島県 (沿岸全域)	平成27年(2015年)9月17日午前7時54分頃(日本時間)チリ中部沖を震源とするマグニチュード8.3の地震が発生した。この地震により、9月18日午前3時00分福島県沿岸に津波注意報が発表され、同日午後4時40分には津波注意報の解除が発表された。 当市では、9月18日午前7時34分に、最大20cmの津波を観測した。	地震は観測されなかった。
平成27年(2015) 10 月 21 日	福島県沖の地震	県下全域	午後15時4分頃福島県沖を震源とするマグニチュード5.5の地震が発生した。	三和 4 平 4 小名浜 3 錦町 4
平成28年(2016) 7 月 27 日	茨城県北部の地震	県下全域	午後23時47分頃茨城県北部を震源とするマグニチュード5.3の地震が発生した。	錦町 4 小名浜 3 三和 3 平 3
平成28年(2016) 11 月 22 日	福島県沖の地震・津波	県下全域	午前5時59分頃福島県沖を震源とするマグニチュード7.4の地震が発生した。この地震により、午前6時2分、福島県沿岸に津波警報が発表された。 なお、同日午前9時46分に津波注意報へ切り替わり、午後0時50分には津波注意報の解除が発表された。 当市では、11月22日午前6時49分に、最大60cmの津波を観測した。	小名浜 5弱 錦町 5弱 三和 5弱 平 5弱
平成28年(2016) 11 月 22 日	福島県沖の地震	県下全域	午後23時3分頃福島県沖を震源とするマグニチュード5.7の地震が発生した。	平 4 小名浜 3 錦町 3
平成28年(2016) 11 月 24 日	福島県沖の地震	県下全域	午前6時23分頃福島県沖を震源とするマグニチュード6.1の地震が発生した。	小名浜 4 錦町 4 平 4
平成28年(2016) 12 月 28 日	茨城県北部の地震	県下全域	午後21時38分頃茨城県北部を震源とするマグニチュード6.3の地震が発生した。	小名浜 4 錦町 4 三和 3

年 月 日	名 称	発生場所	被 害 状 況	震 度
平成28年(2016) 12月31日	福 島 県沖の 地震	県下全域	午前5時8分頃福島県沖を震源とするマグニチュード5.6の地震が発生した。	三和 4 平 3 小名浜 2 錦町 2
平成29年(2017) 1月5日	福 島 県沖の 地震	県下全域	午前0時44分頃福島県沖を震源とするマグニチュード5.3の地震が発生した。 午前2時53分頃にも福島県沖を震源とするマグニチュード5.8の地震が発生した。	○午後11時56分 小名浜 4 錦町 4 三和 4 平 4 ○午前2時53分 小名浜 4 錦町 4 三和 3 平 3
平成29年(2017) 2月28日	福 島 県沖の 地震	県下全域	午後4時49分頃福島県沖を震源とするマグニチュード5.6の地震が発生した。この地震による津波は観測されなかった。	小名浜 3 錦町 3 三和 4 平 3
平成29年(2017) 7月20日	福 島 県沖の 地震	県下全域	午前9時11分頃福島県沖を震源とするマグニチュード5.6の地震が発生した。この地震による津波は観測されなかった。	小名浜 3 錦町 3 三和 4 平 3
平成29年(2017) 10月6日	福 島 県沖の 地震	県下全域	午後11時56分頃福島県沖を震源とするマグニチュード5.9の地震が発生した。この地震による津波は観測されなかった。	小名浜 4 錦町 4 三和 4 平 4
平成30年(2018) 2月26日	福 島 県沖の 地震	県下全域	午前1時26分頃福島県沖を震源とするマグニチュード5.7の地震が発生した。	三和 4 平 4 小名浜 3 錦町 3
平成30年(2018) 12月8日	福 島 県沖の 地震	県下全域	午後10時54分頃福島県沖を震源とするマグニチュード5.0の地震が発生した。	三和 4 平 3 小名浜 2 錦町 2
令和元年(2019) 6月18日	山 形 県沖の 地震	県下全域	午後10時22分頃山形県沖を震源とするマグニチュード6.7の地震が発生した。	三和 3 平 4 小名浜 3 錦町 3

年 月 日	名 称	発生場所	被 害 状 況	震 度
令和元年(2019) 8月4日	福 島 県沖の 地震	県下全域	午後7時23分頃福島県沖を震源とするマグ ニチュード6.4の地震が発生した。	三和 4 平 4 小名浜 3 錦町 3
令和2年(2020) 2月12日	福 島 県沖の 地震	県下全域	午後7時37分頃福島県沖を震源とするマグ ニチュード5.4の地震が発生した。	三和 5強 平 5強 小名浜 5弱 錦町 5弱
令和2年(2020) 11月22日	茨 城 県 沖の地 震	県下全域	午後7時5分頃茨城県沖を震源とするマグ ニチュード5.7の地震が発生した。	三和 3 平 3 小名浜 4 錦町 4
令和3年(2021) 2月13日	福 島 県沖の 地震	県下全域	午後11時7分頃福島県沖を震源とするマグ ニチュード7.3の地震が発生した。	三和 3 平 4 小名浜 3 錦町 3
令和3年(2021) 3月20日	宮 城 県沖の 地震	県下全域	午後6時9分頃宮城県沖を震源とするマグ ニチュード6.9の地震が発生した。	三和 4 平 4 小名浜 4 錦町 4
令和3年(2021) 5月1日	宮 城 県沖の 地震	県下全域	午前10時27分頃宮城県沖を震源とするマ グニチュード6.8の地震が発生した。	三和 4 平 4 小名浜 3 錦町 3
令和4年(2022) 3月16日	福 島 県沖の 地震	県下全域	午後11時36分頃福島県沖を震源とするマ グニチュード7.4の地震が発生した。	三和 5強 平 5強 小名浜 5弱 錦町 5弱
令和4年(2022) 4月4日	福 島 県沖の 地震	県下全域	午後7時29分頃福島県沖を震源とするマグ ニチュード5.4の地震が発生した。	三和 4 平 2 小名浜 2 錦町 2
令和4年(2022) 4月19日	茨 城 県 北 部の地 震	県下全域	午前8時16分頃茨城県北部を震源とするマ グニチュード5.4の地震が発生した。	三和 4 平 3 小名浜 3 錦町 3
令和4年(2022) 5月22日	福 島 県沖の 地震	県下全域	午後12時24分頃福島県沖を震源とするマ グニチュード6.0の地震が発生した。	三和 4 平 5弱 小名浜 5弱 錦町 3

<u>令和6年(2024)</u> <u>3月15日</u>	<u>福島</u> <u>県沖の</u> <u>地震</u>	<u>県下全域</u>	<u>午前0時14分頃福島県沖を震源とするマグ</u> <u>ニチュード5.8の地震が発生した。</u>	<u>三和 4</u> <u>平 4</u> <u>小名浜 3</u> <u>錦町 4</u>
-----------------------------------	--------------------------------------	-------------	---	--